



世界の食糧市場と 商社の役割

2016年11月21日

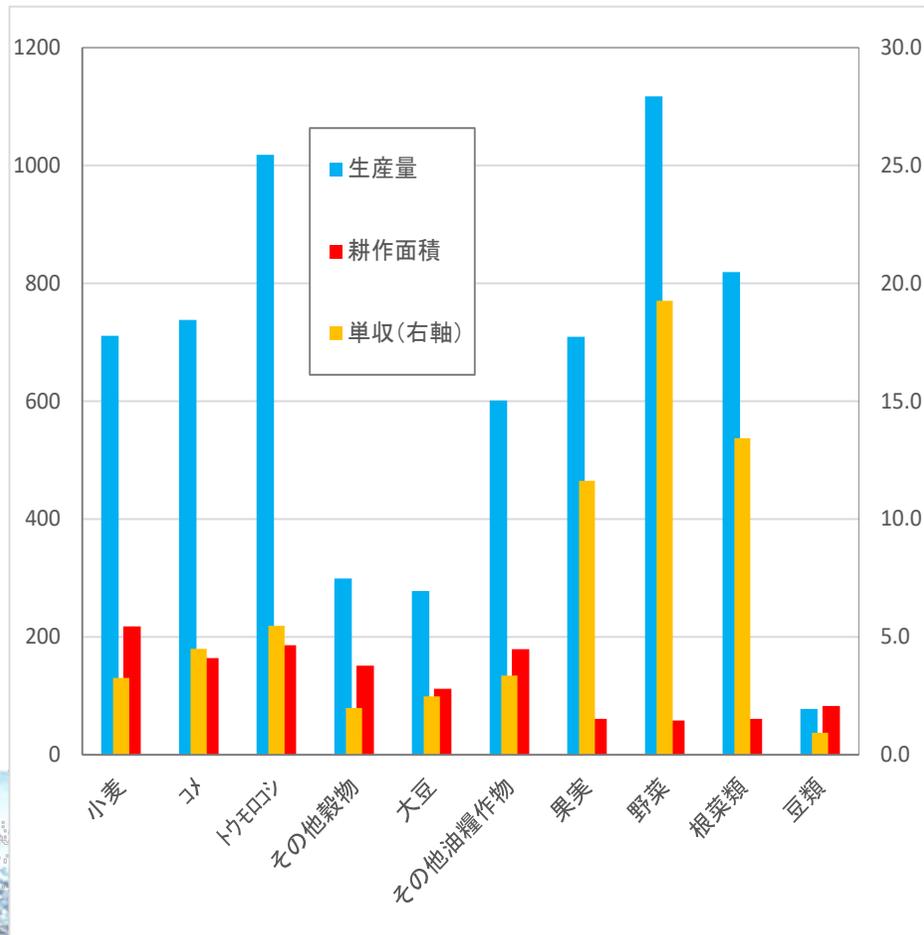


Marubeni
丸紅経済研究所

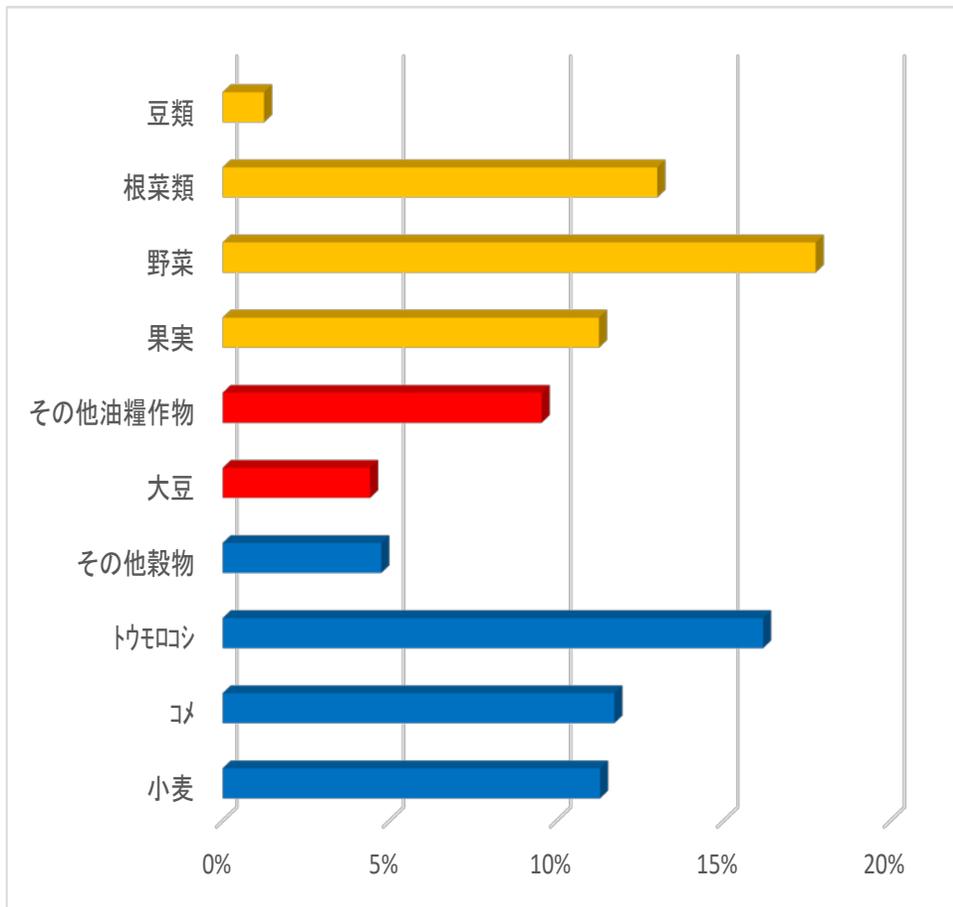
穀物の位置づけ: 主要農産物における生産シェアは4割

世界の主要農産物 (2013年、FAO)

<生産(百万トン)、耕作面積(百万ha)、単収(トン/ha、右軸)>

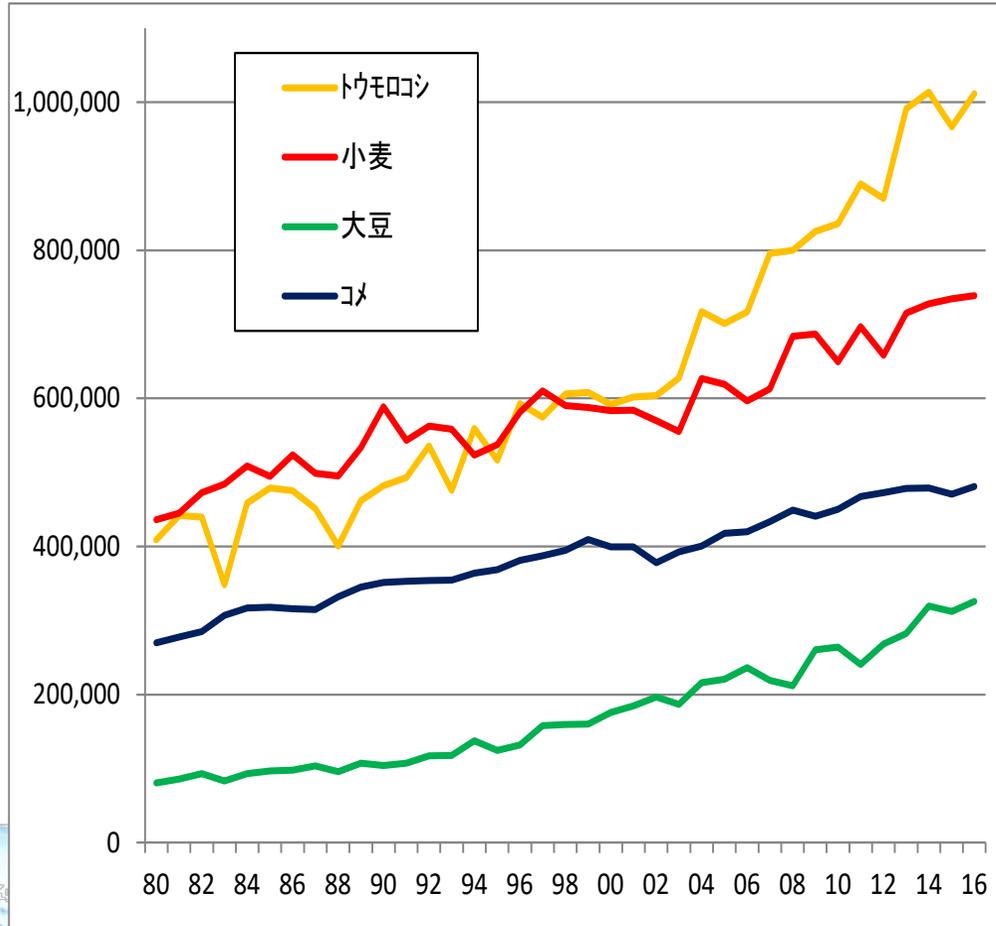


主要農産物の世界生産シェア (FAO、%)

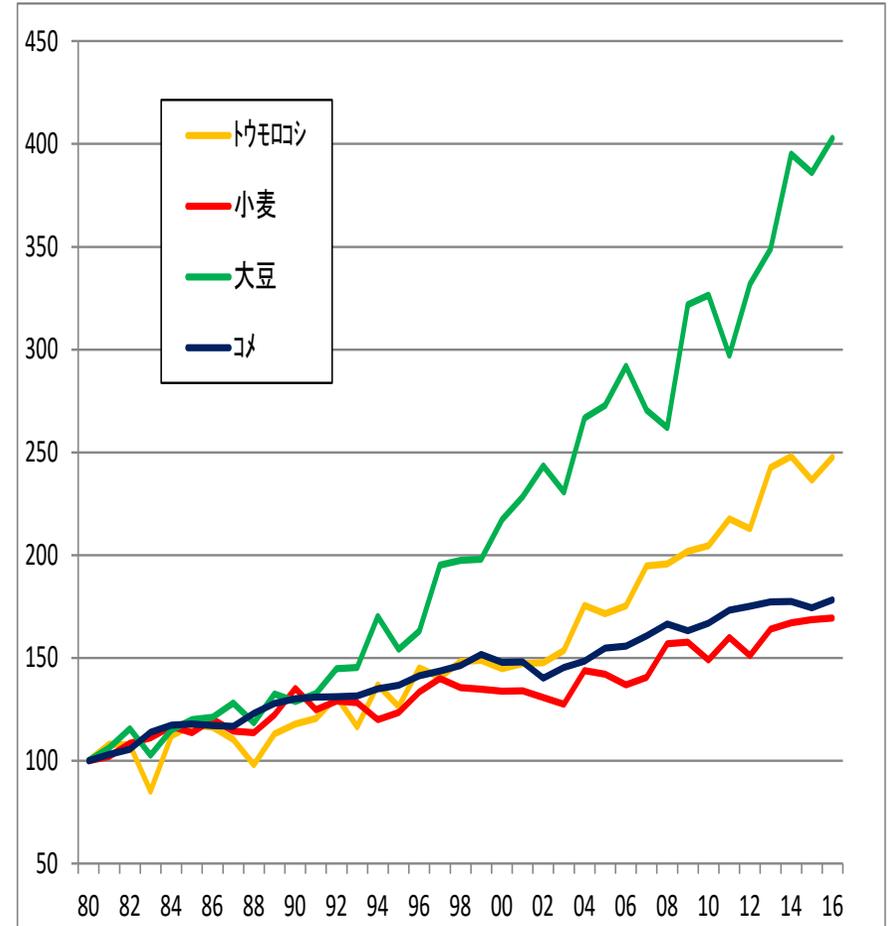


穀物生産：大豆・トウモロコシは増加基調、小麦・コメは人口増程度の伸び

穀物の世界生産（千トン）

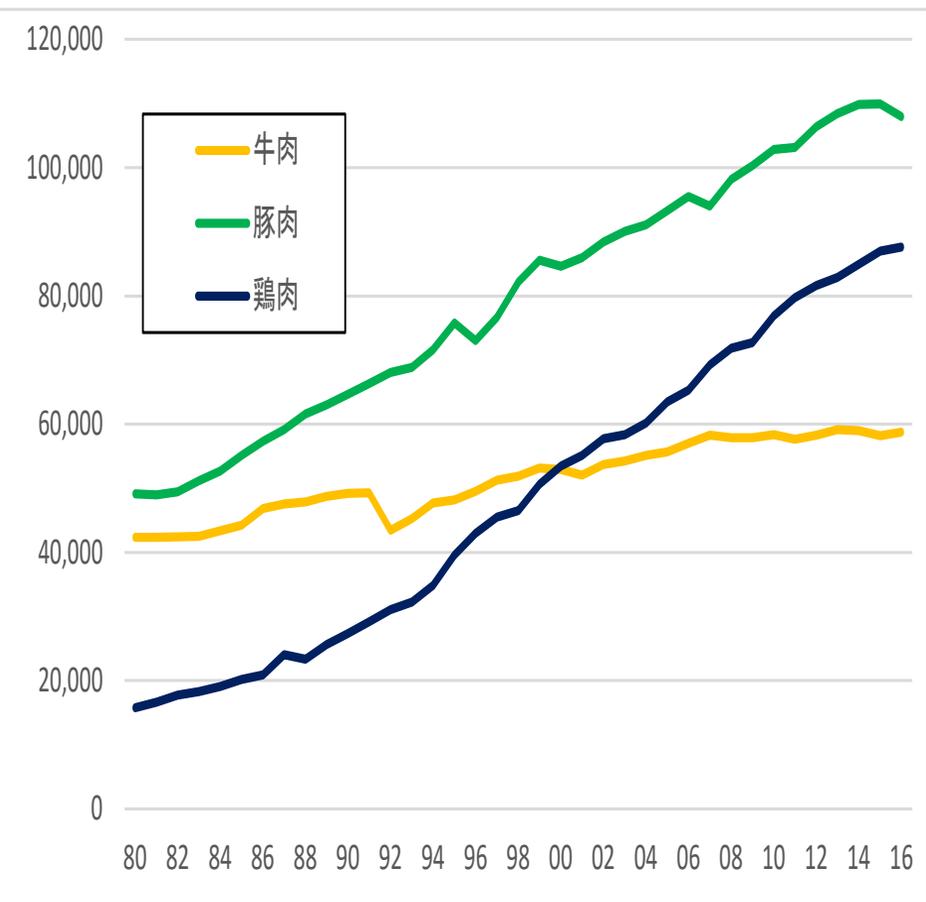


穀物の世界生産（1980年=100）

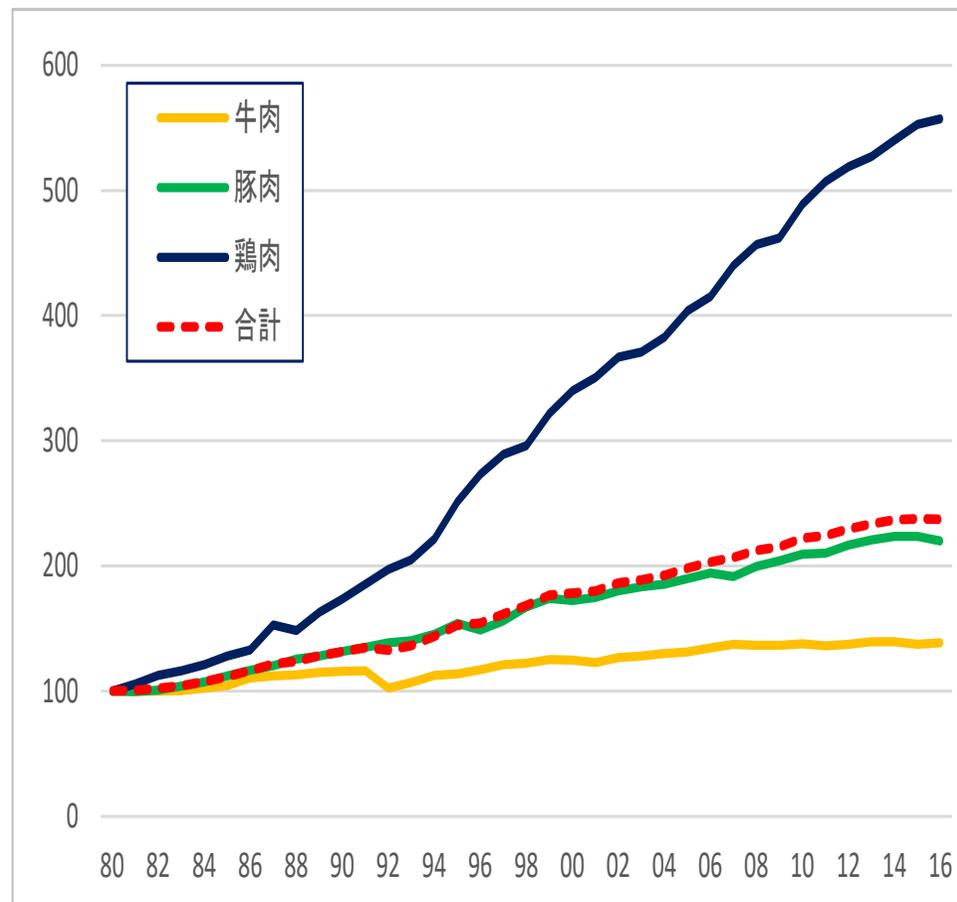


食肉の世界消費：牛肉は頭打ち、鶏肉の伸びは高い

世界の食肉消費量(千トン)

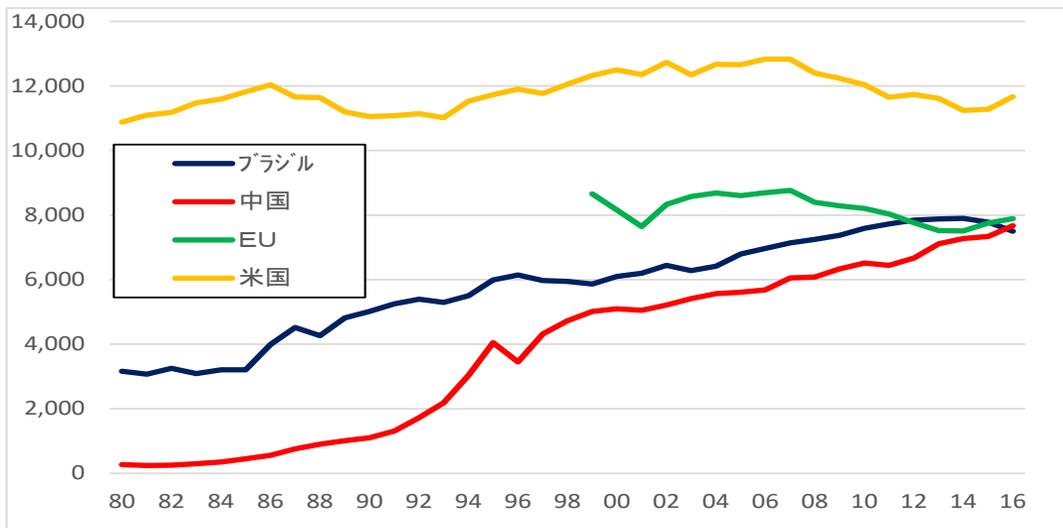


世界の食肉消費量 (1980年=100)

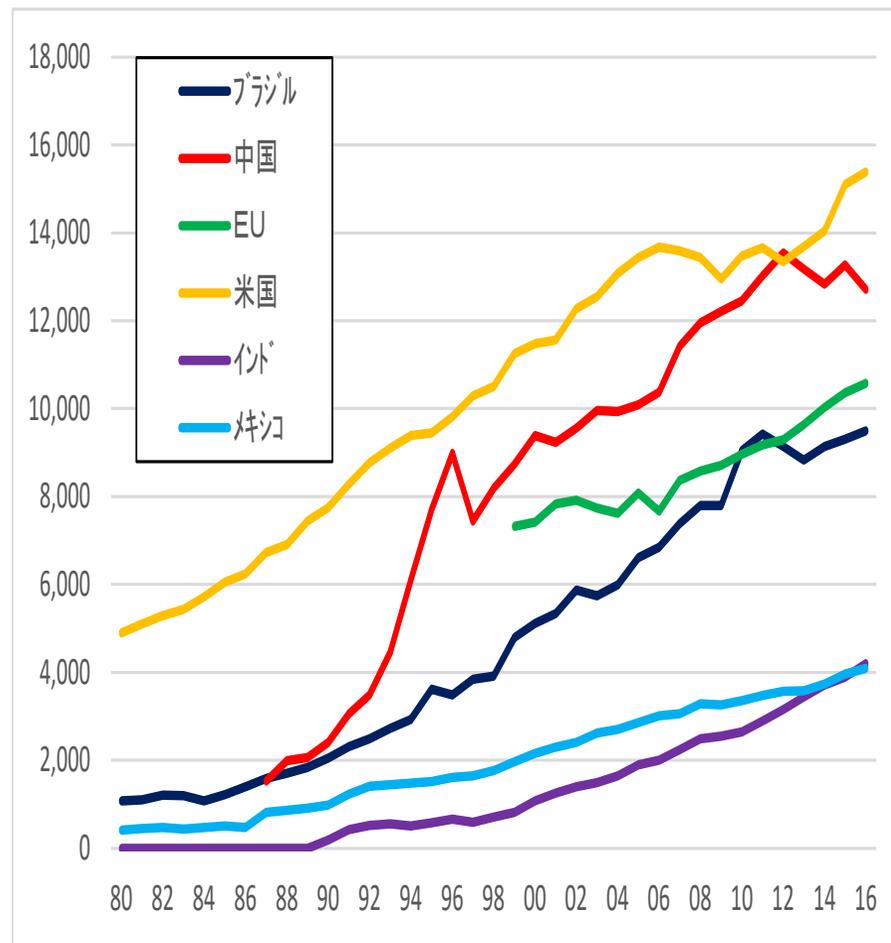


食肉の国別消費：先進国では牛肉、豚肉は横ばいだが、鶏肉は増加

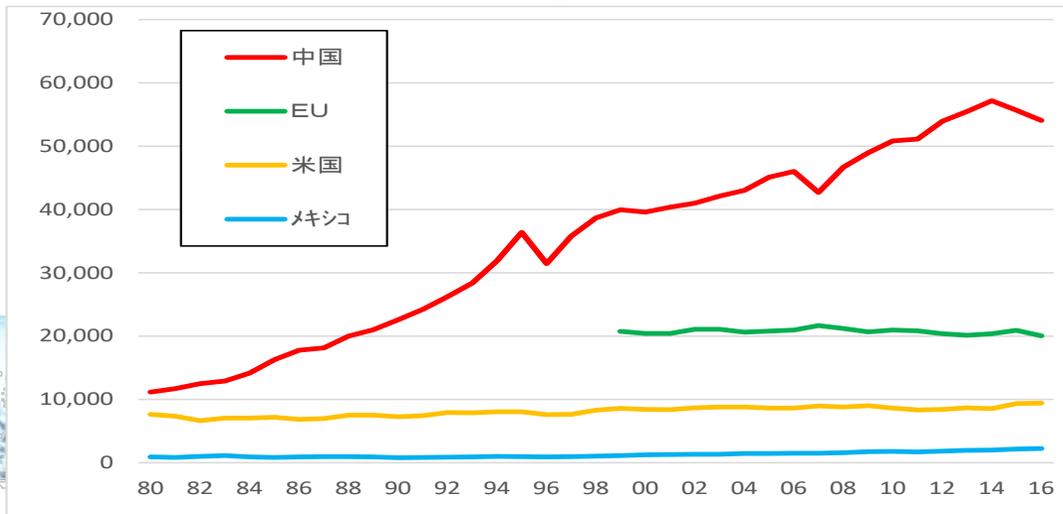
国別牛肉消費量(千トン)



国別鶏肉消費量 (1980年=千トン)

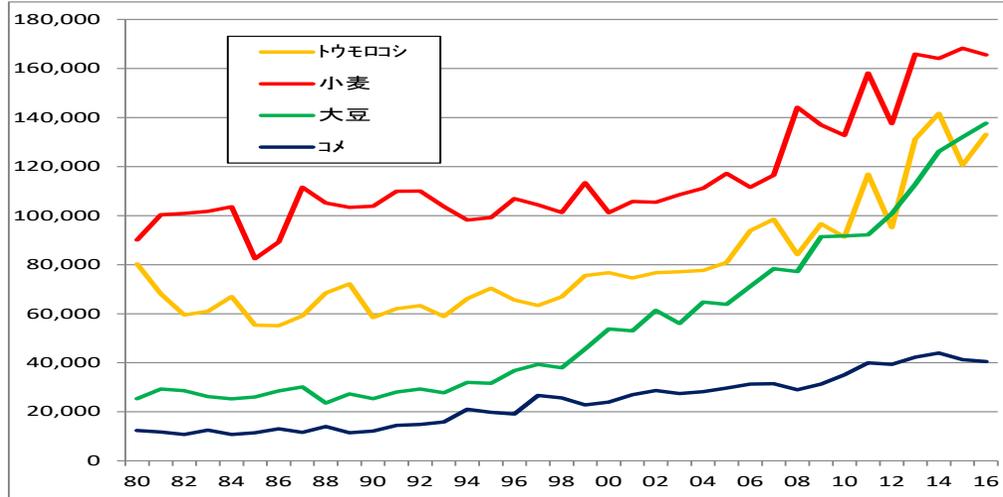


国別豚肉消費量(千トン)

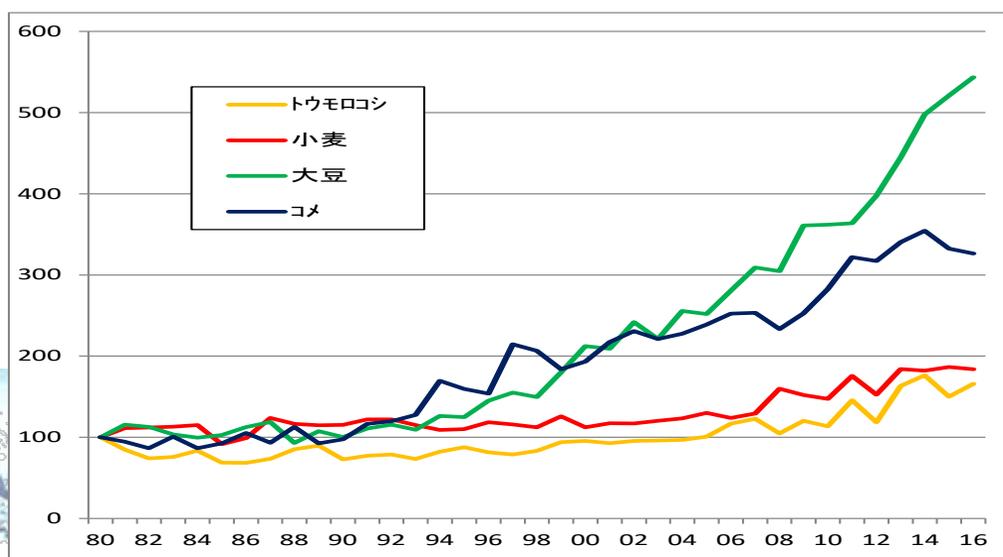


穀物の世界輸出：大豆・コメは増加。小麦、トウモロコシの伸びは小さい。

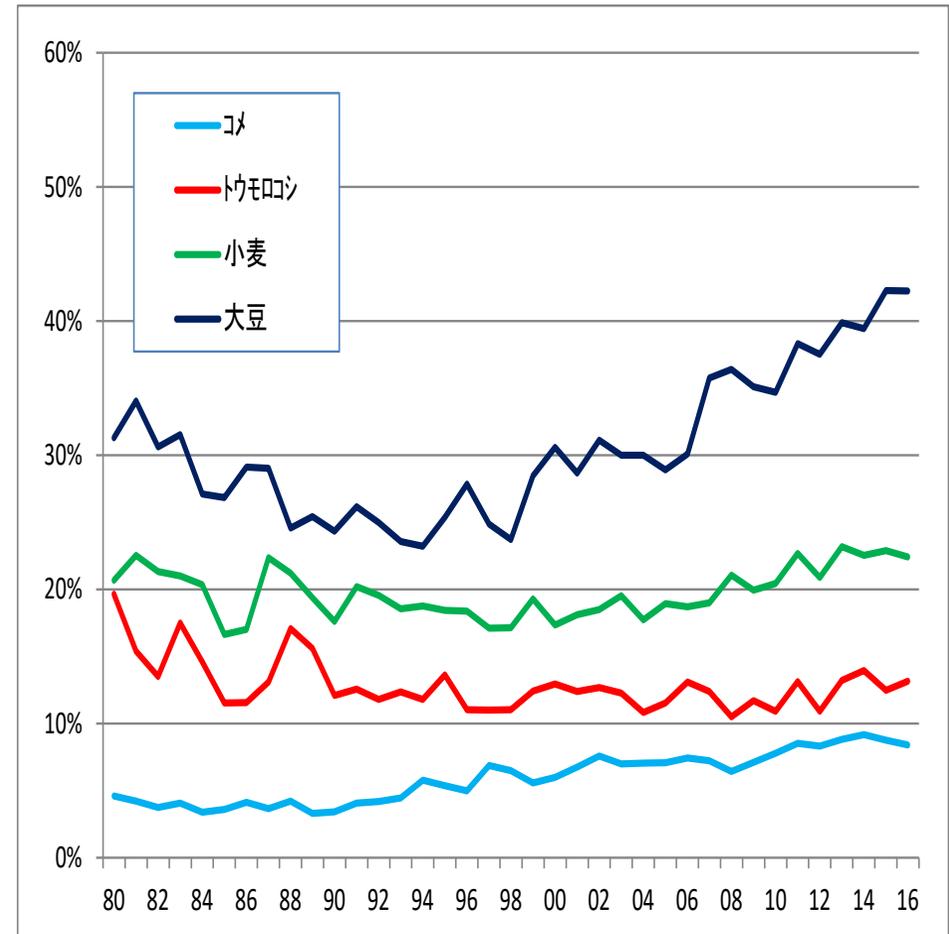
穀物の世界輸出（千トン）



穀物の世界輸出（1980年=100）

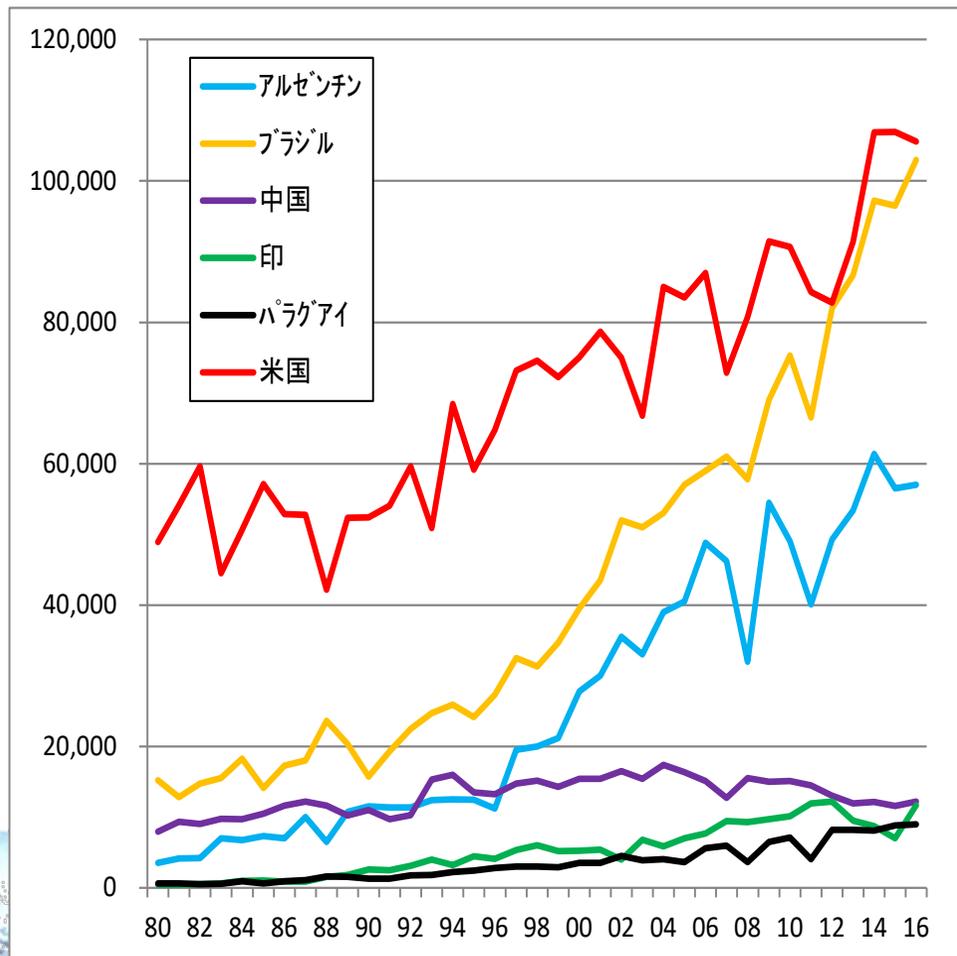


穀物の輸出比率（%）

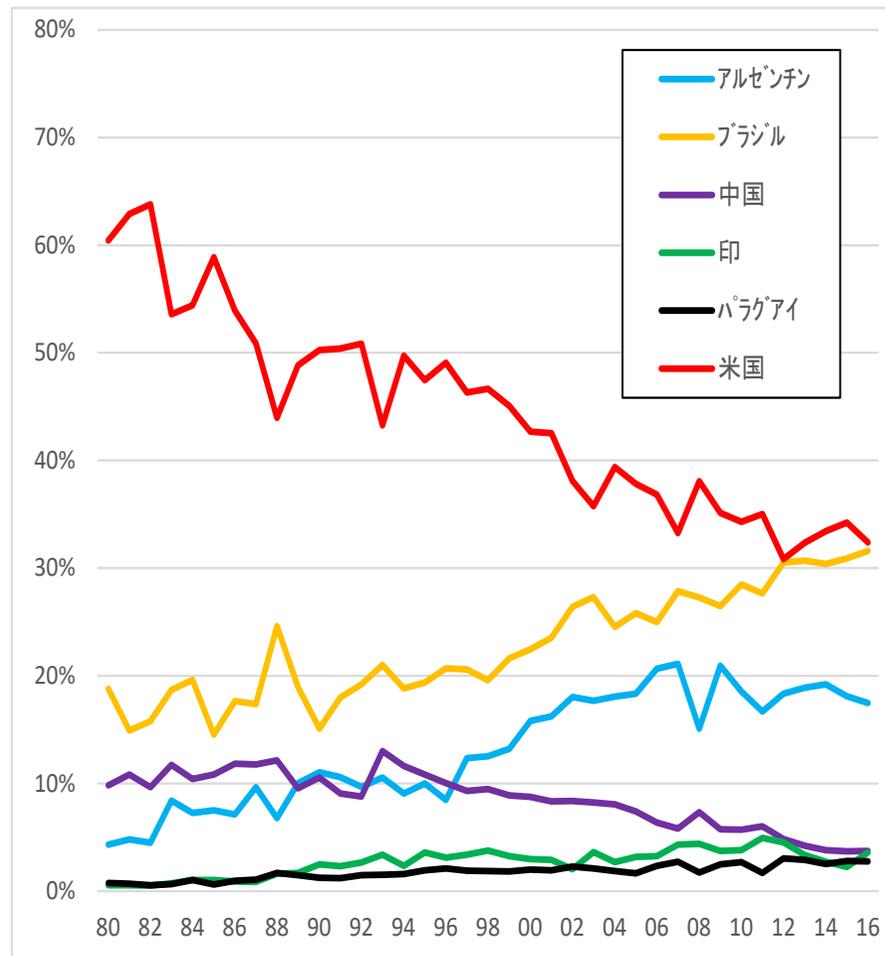


大豆生産：米国がブラジルに追いつかれ、両国は拮抗

大豆の国別生産量（千トン）

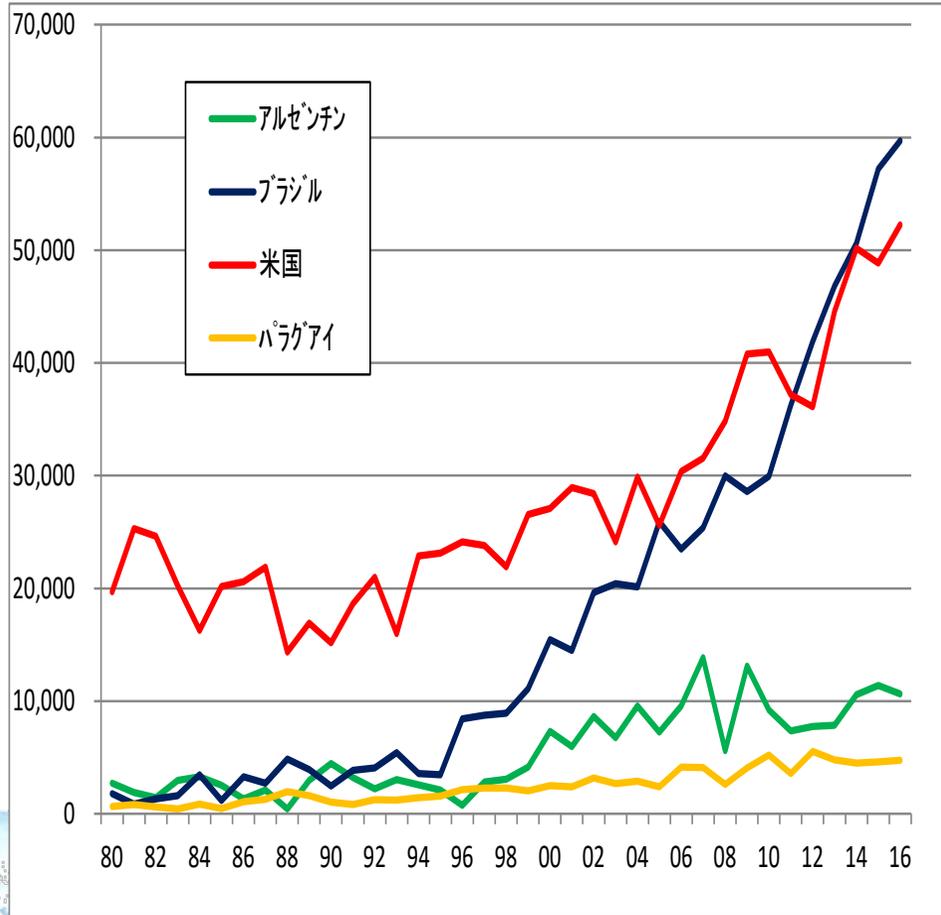


大豆の国別世界生産シェア（%）

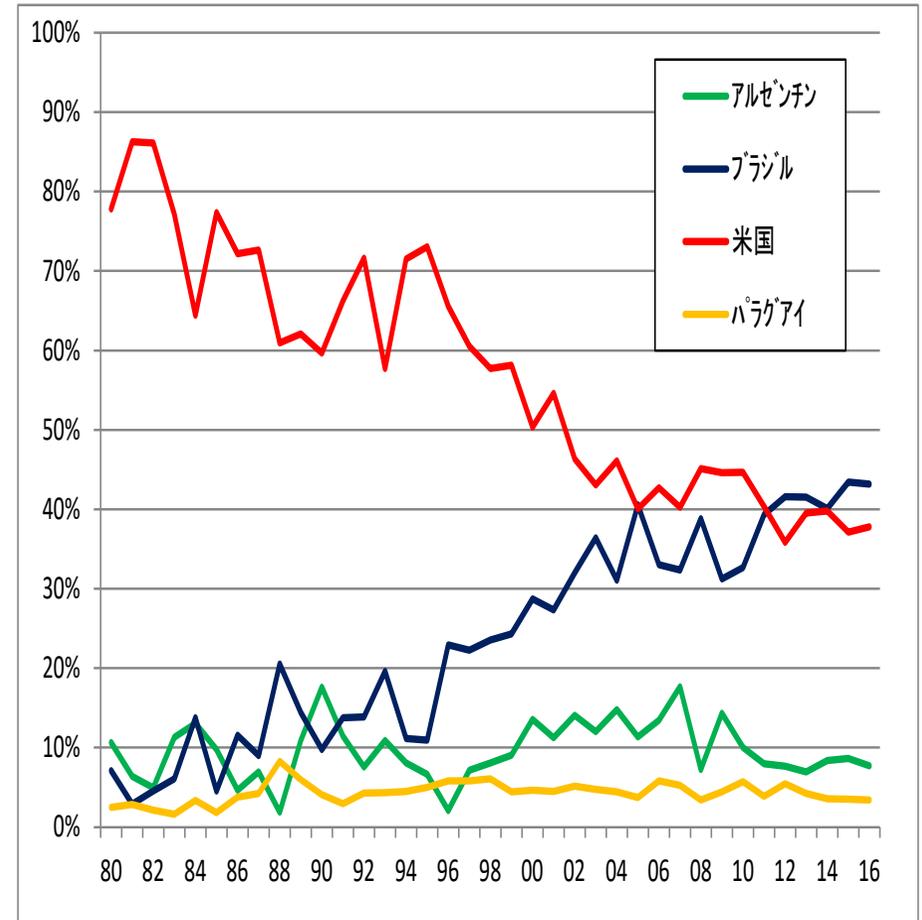


大豆輸出：米国とブラジルがほぼ並ぶ。アルゼンチンは横ばいの推移

大豆の国別輸出量（千トン）

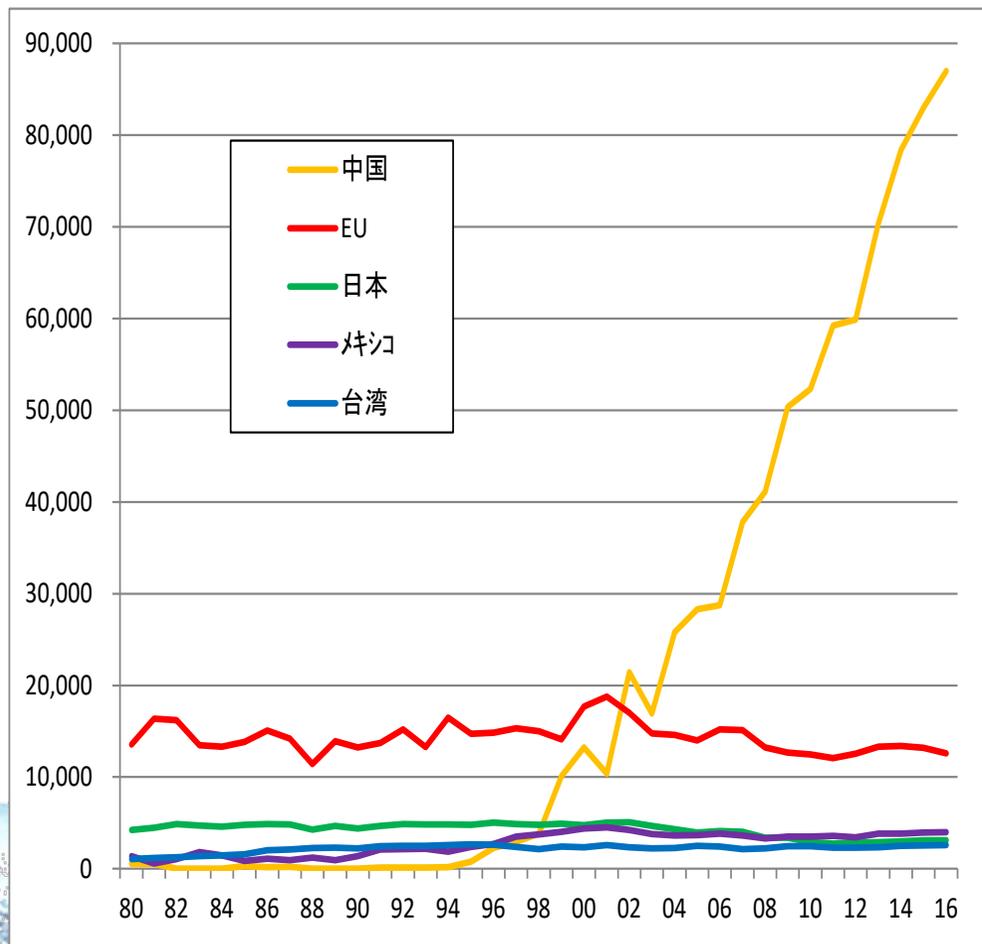


大豆の国別世界輸出シェア（%）

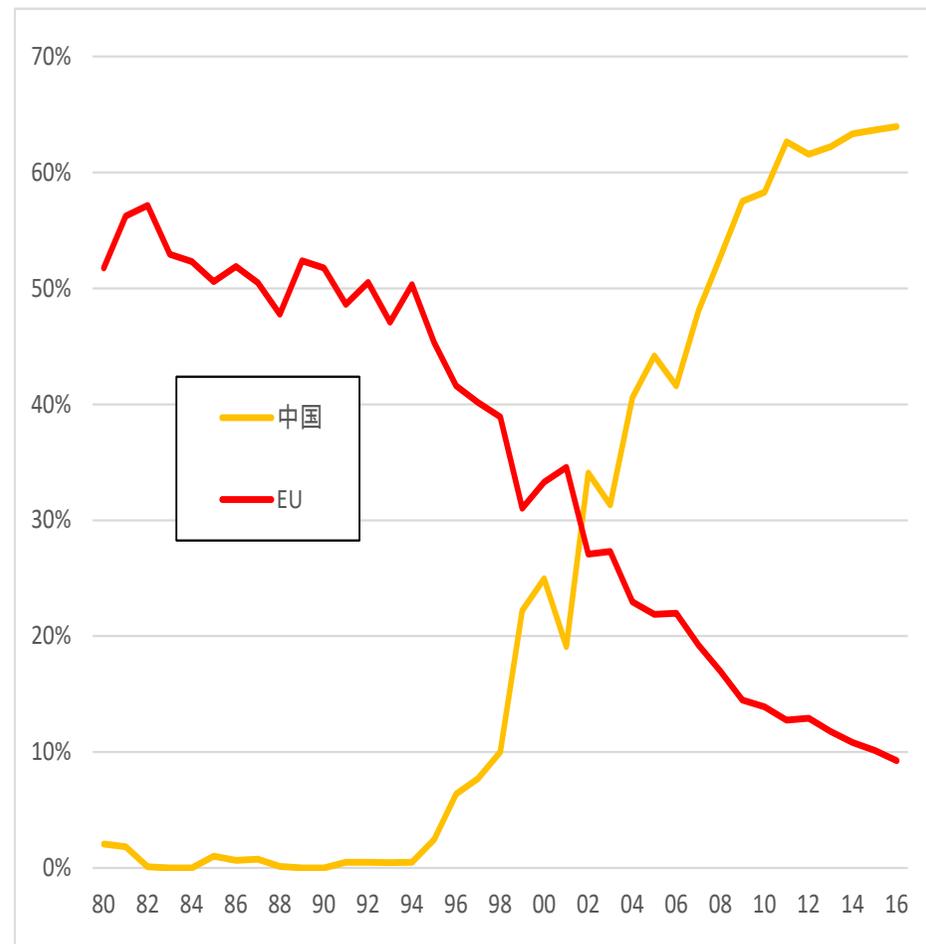


大豆輸入：中国の需要が急増し、輸入では圧倒的なシェアを占める

大豆の国別輸入量（千トン）

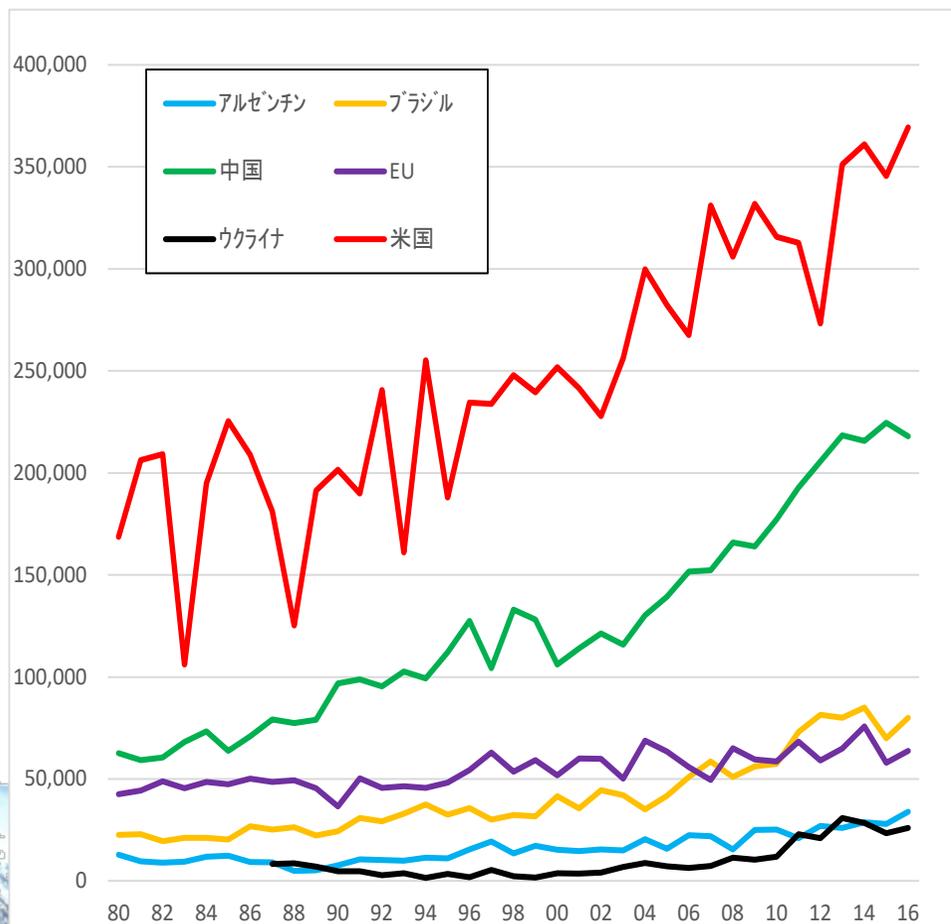


大豆の国別世界輸入シェア（%）

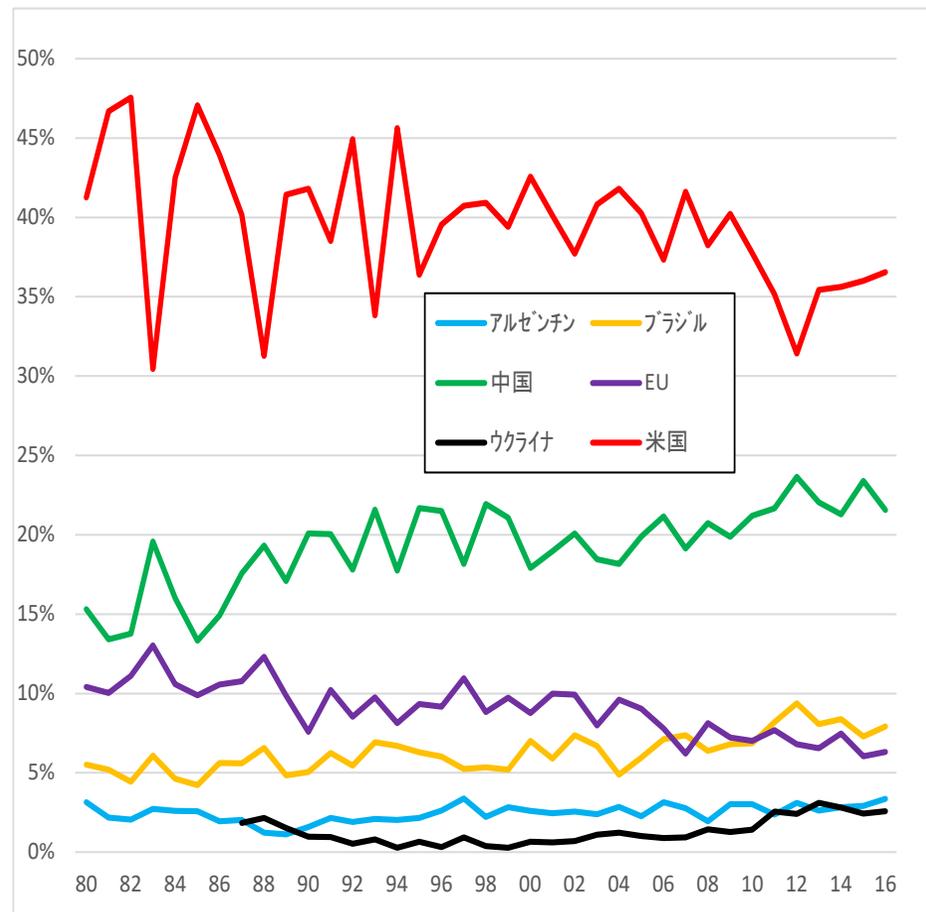


トウモロシ生産：米国は大きなシェアを占め、中国も増産

トウモロシの国別生産量（千トン）

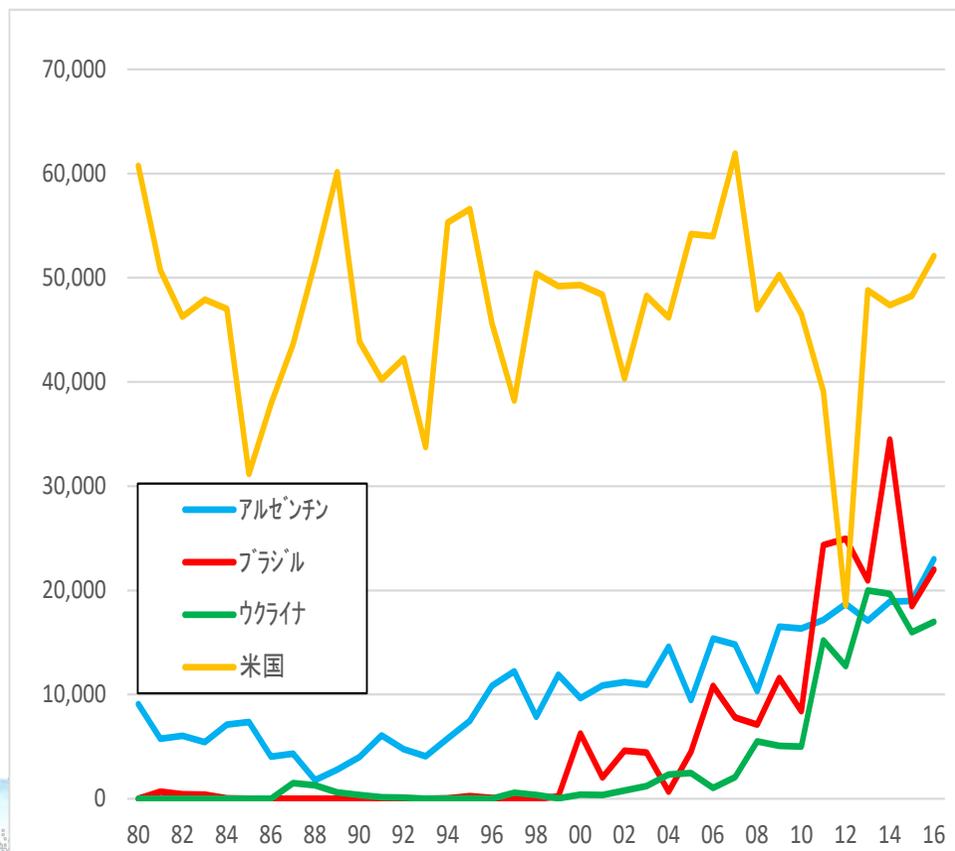


トウモロシの国別世界生産シェア（%）

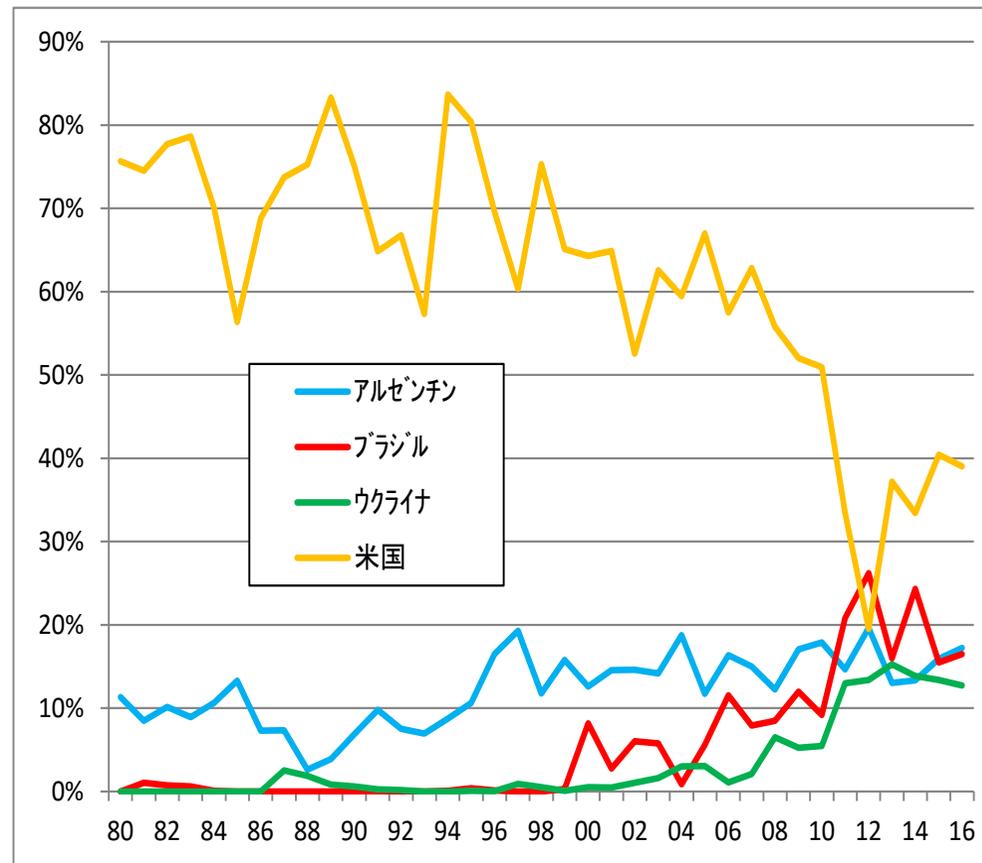


トウモロシ輸出：ブラジル、ウクライナのシェア上昇で、米国の存在感低下

トウモロシの国別輸出量（千トン）

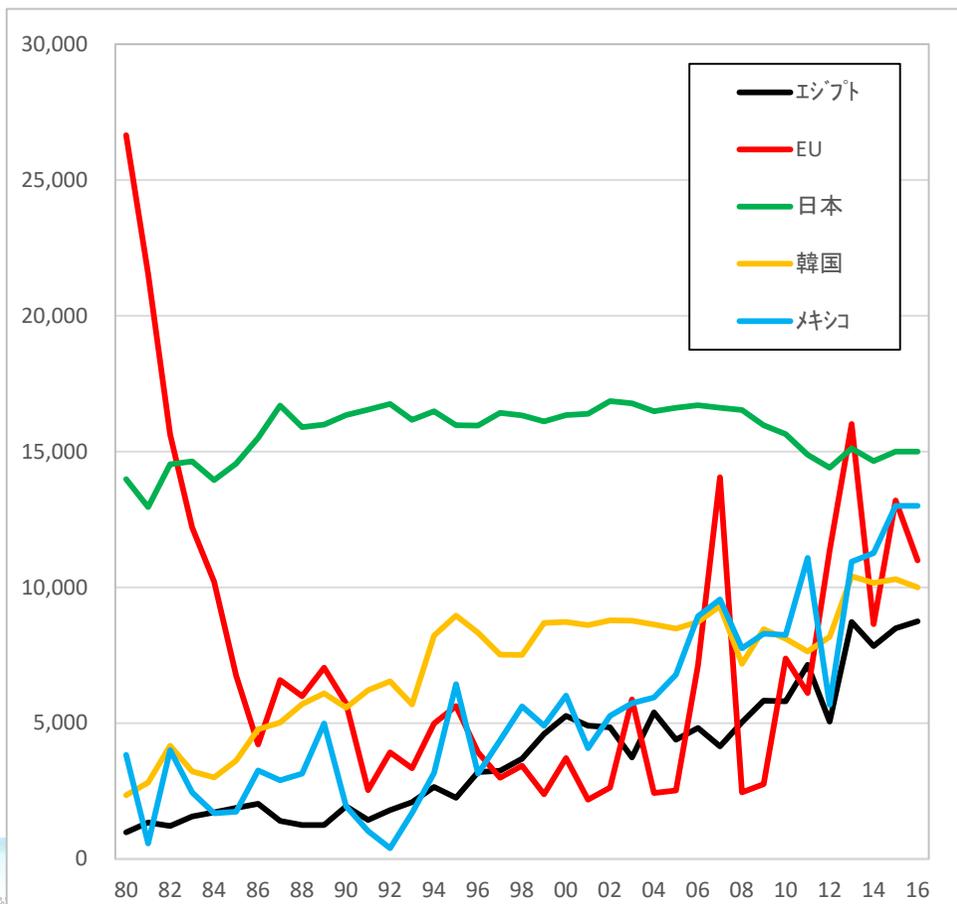


トウモロシの国別世界輸出シェア（%）

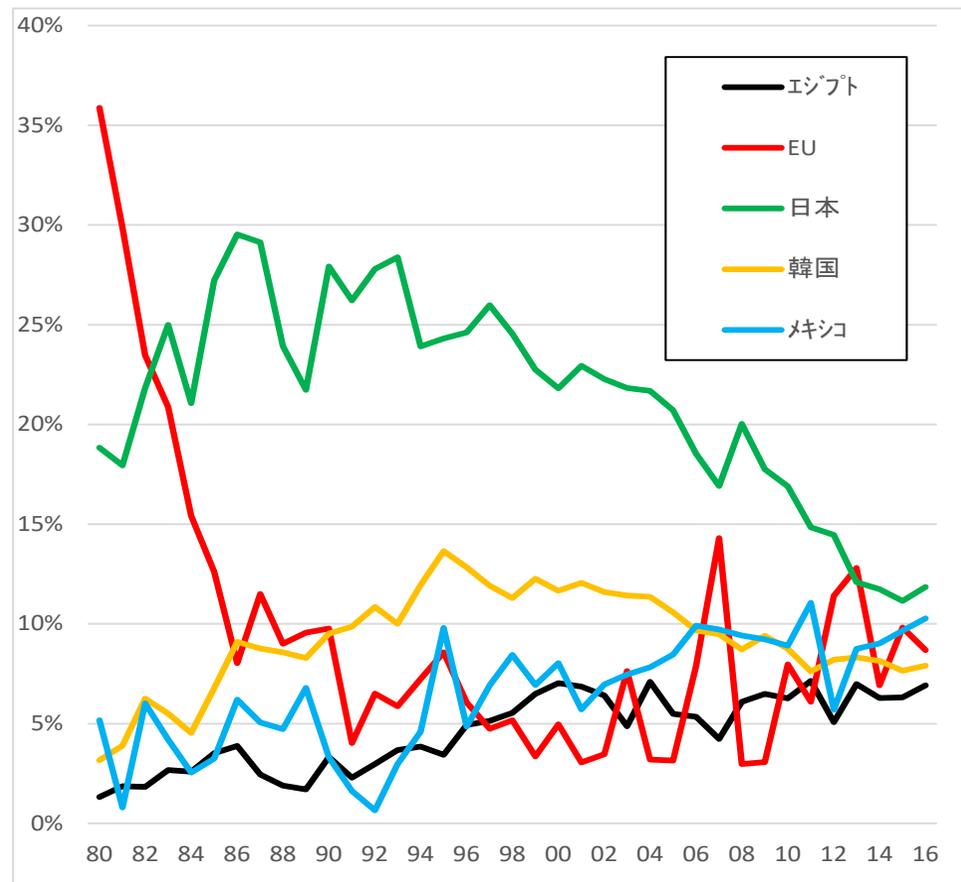


トウモロシ輸入：最大輸入国である日本のシェアは低下

トウモロシの国別輸入量（千トン）

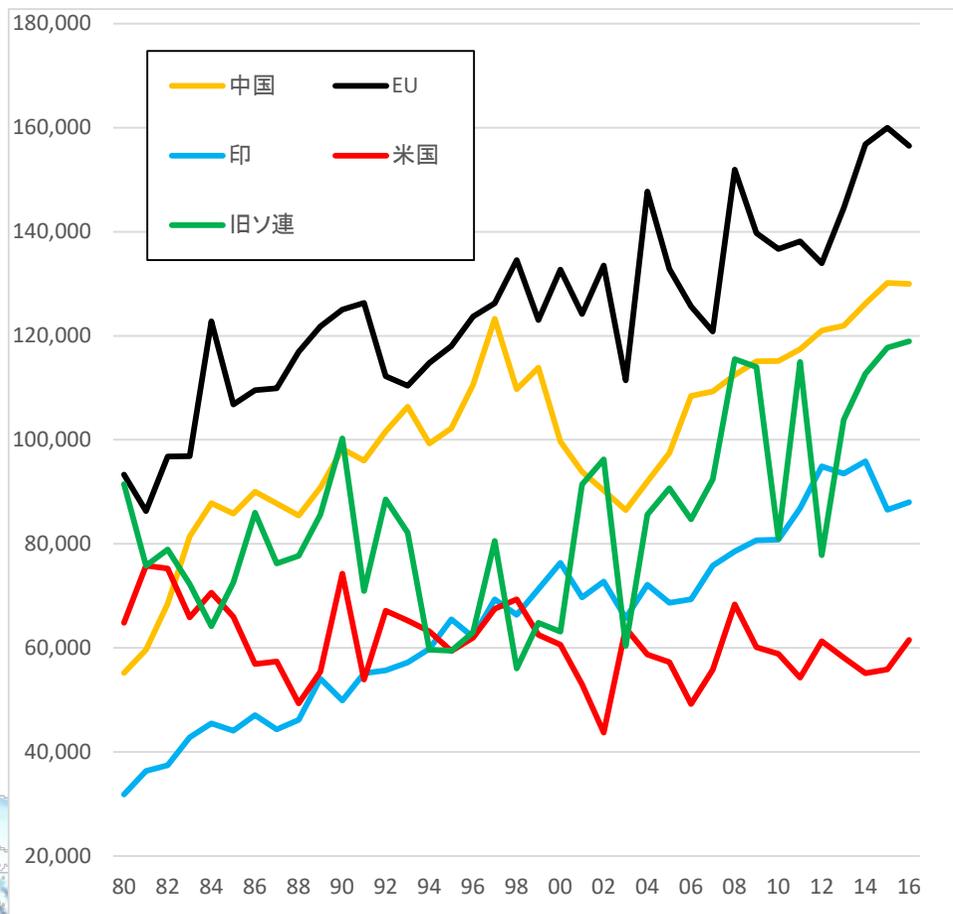


トウモロシの国別世界輸入シェア（%）

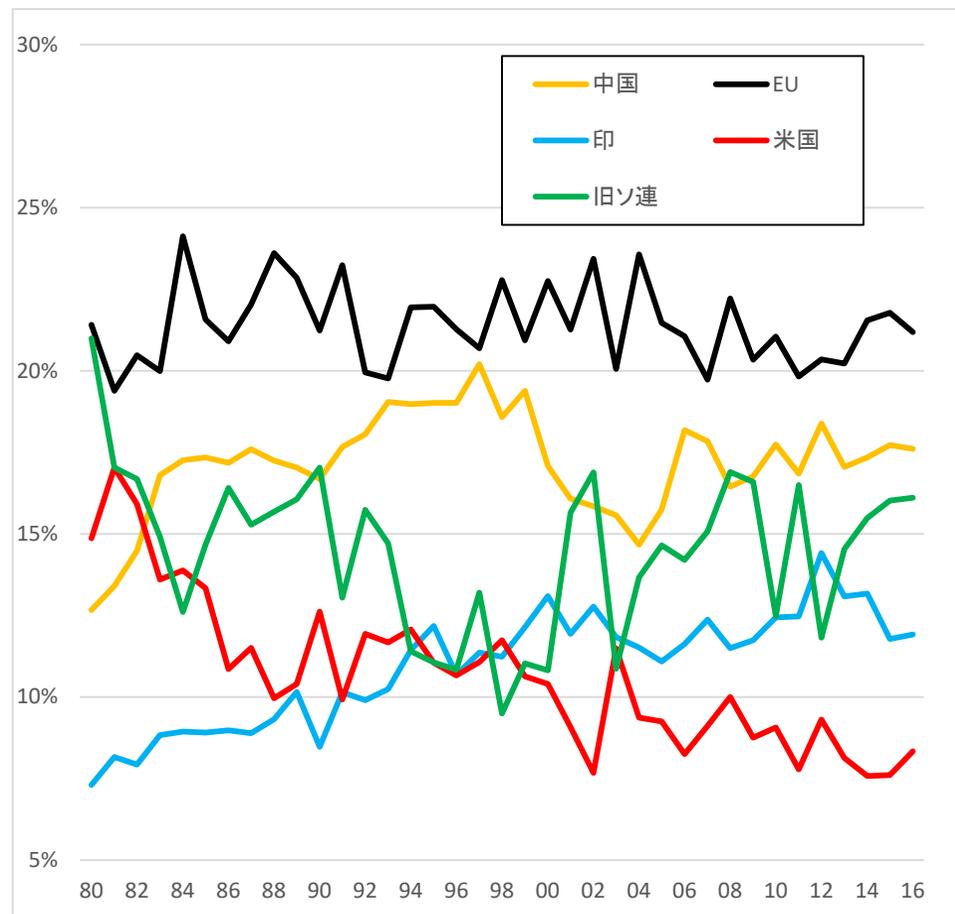


小麦生産：生産国は分散。米国のシェアは緩やかに低下

小麦の国別生産量（千トン）

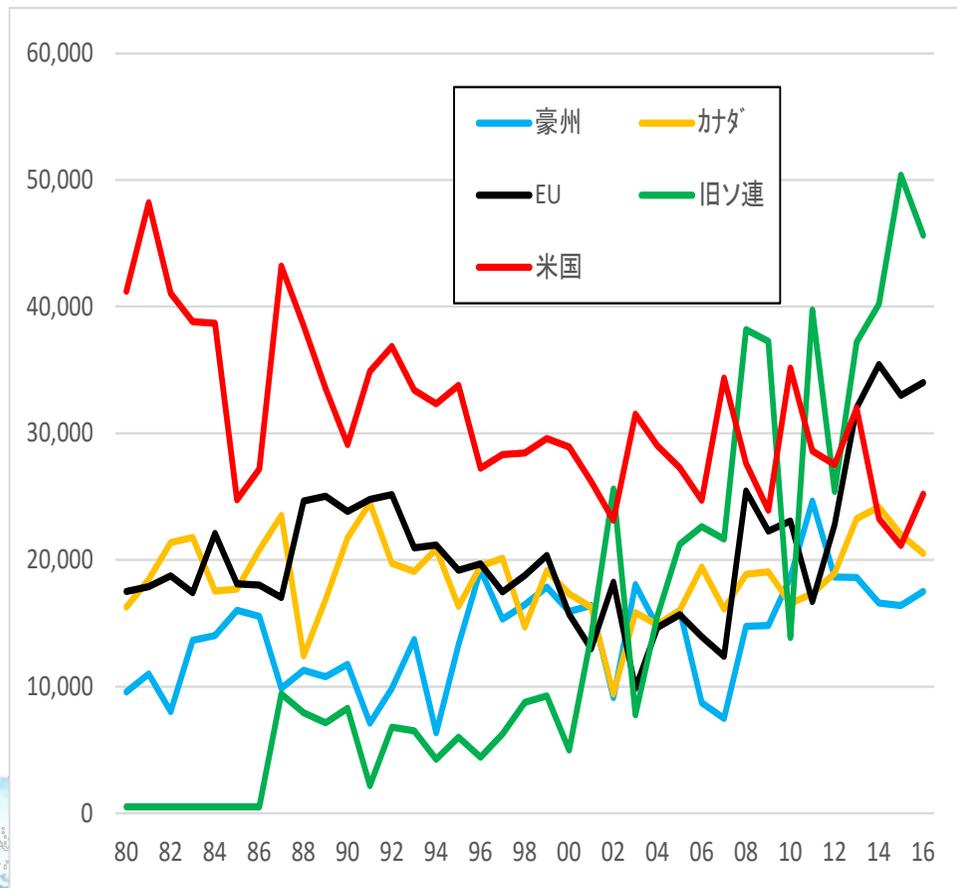


小麦の国別世界生産シェア（%）

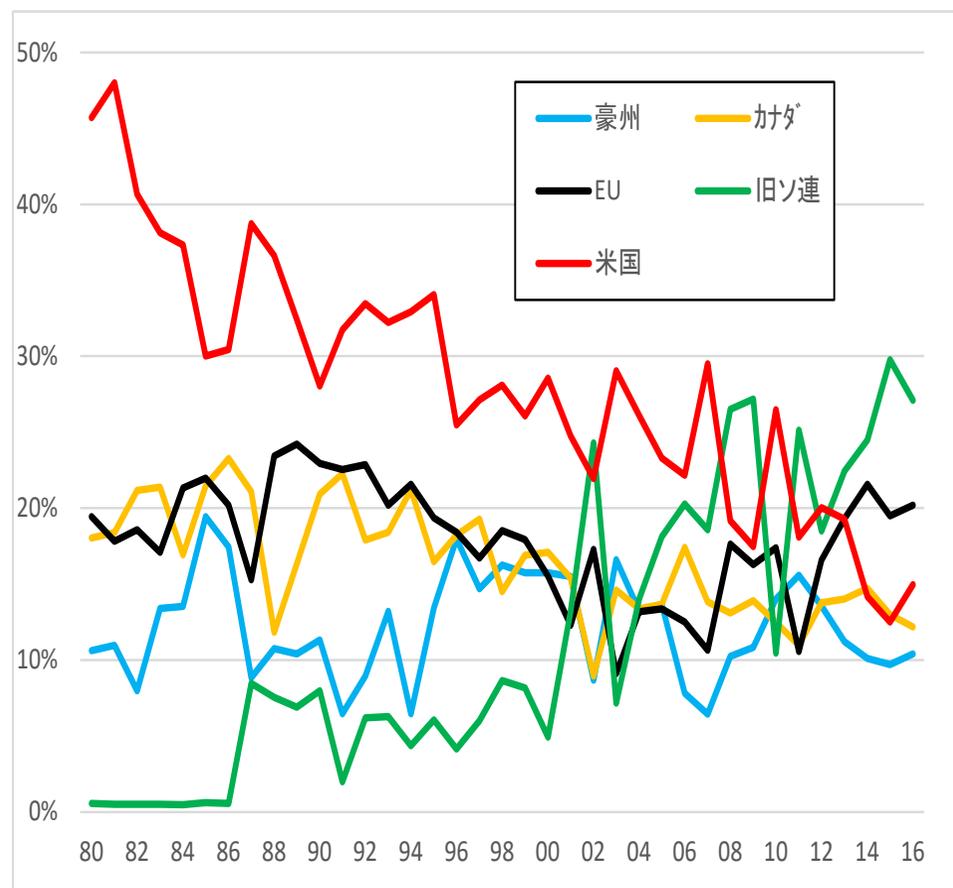


小麦輸出：米国のシェア低下と旧ソ連のシェア上昇が対照的

小麦の国別輸出量（千トン）

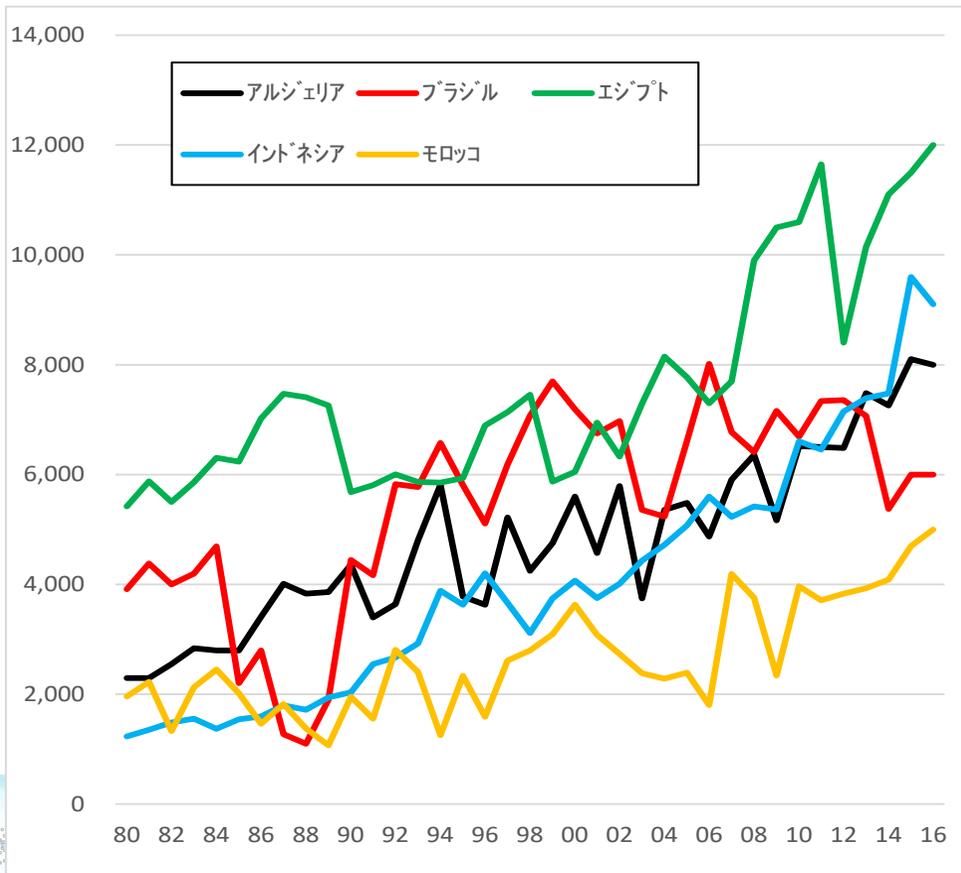


小麦の国別世界輸出シェア（%）

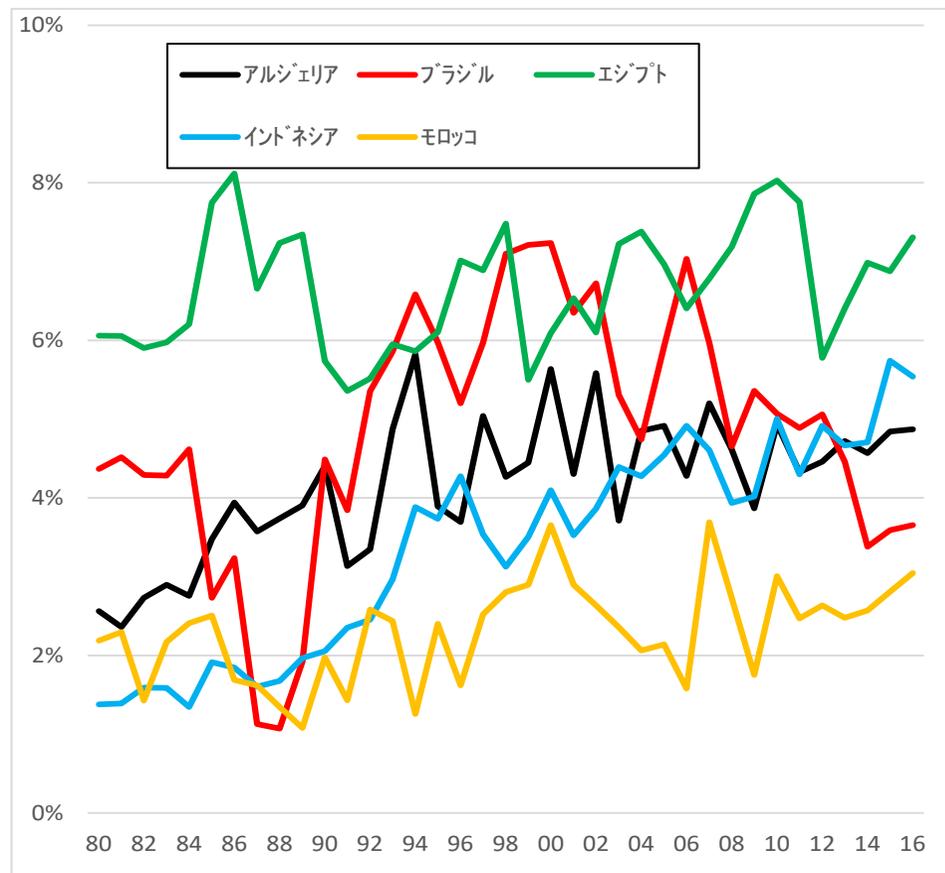


小麦輸入：北アフリカやアジアの人口増加国では増加トレンド

小麦の国別輸入量（千トン）

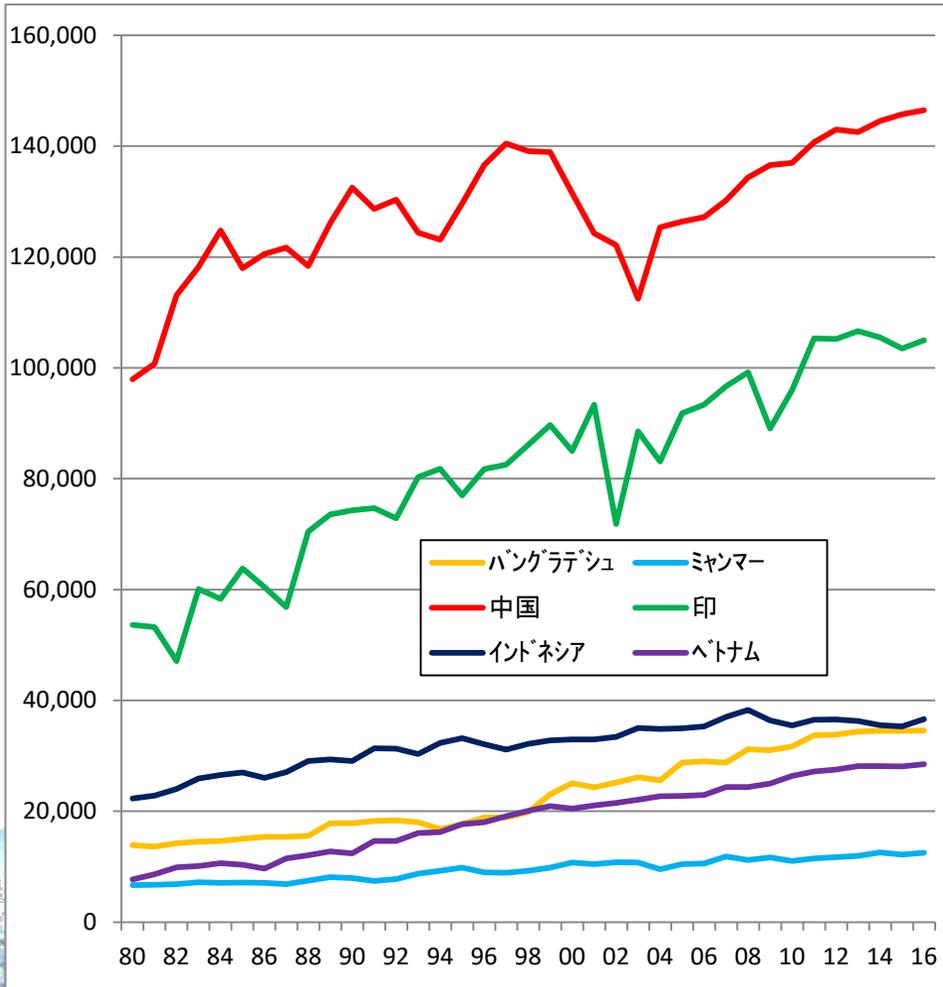


小麦の国別世界輸入シェア（%）

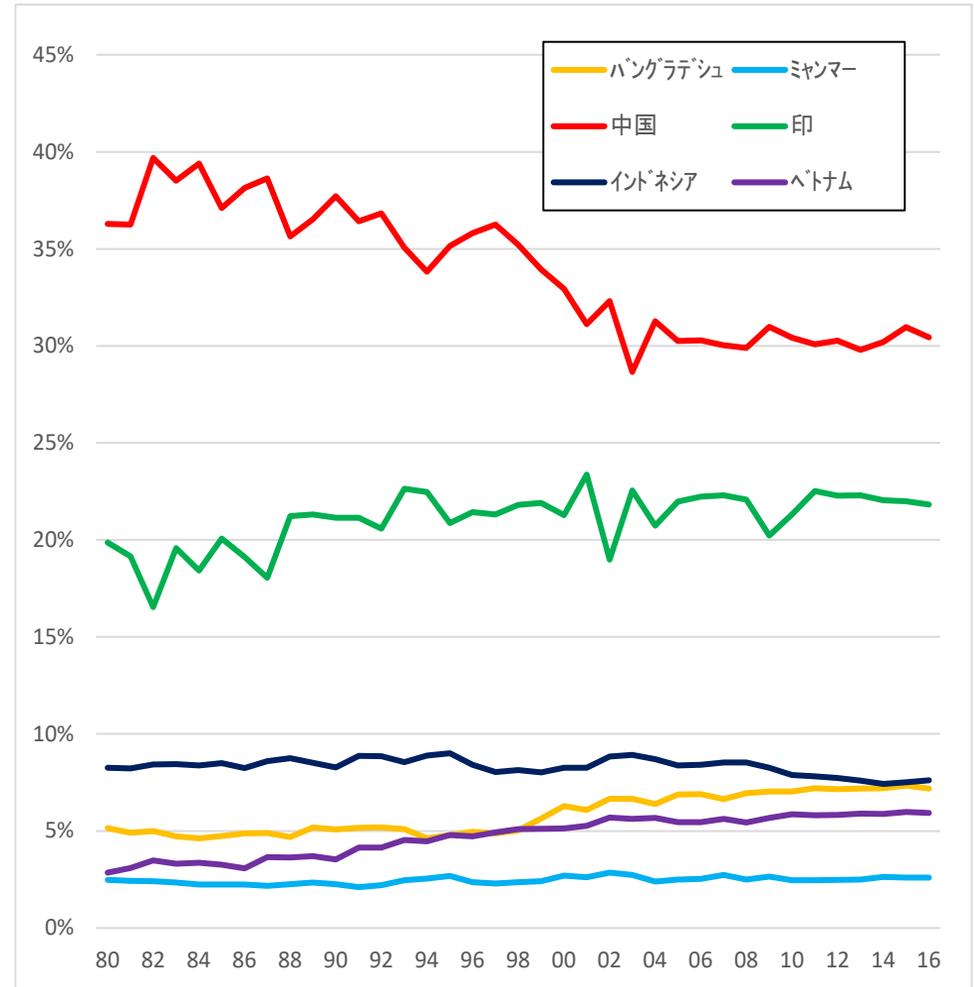


コメ生産：中印の人口大国は高水準。シェアの変動が小さい

コメの国別生産量（千トン）

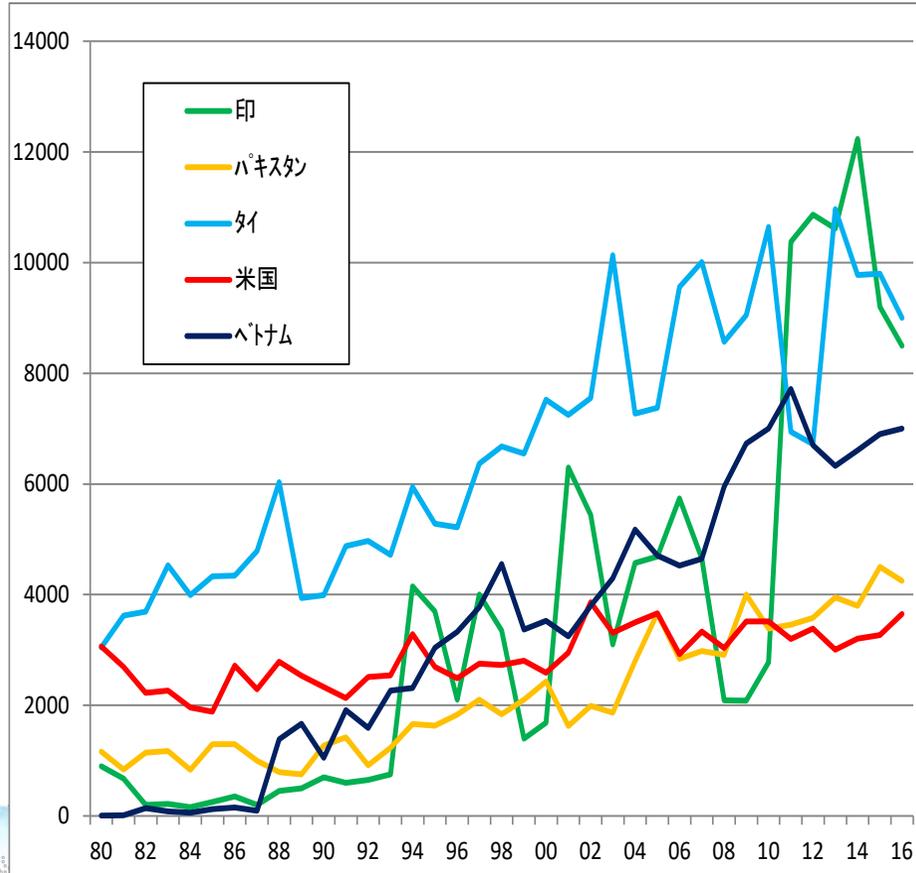


コメの国別世界生産シェア（%）

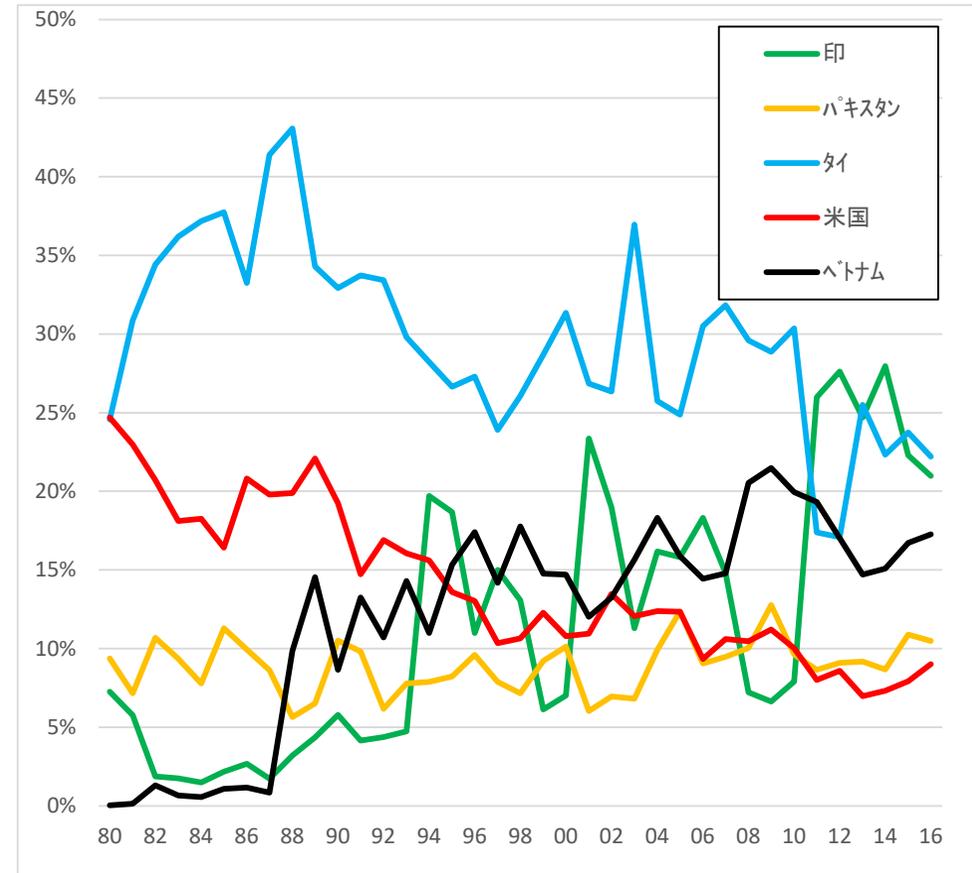


コメ輸出：印・ベトナムのシェアは緩やかに上昇

コメの国別輸出量（千トン）

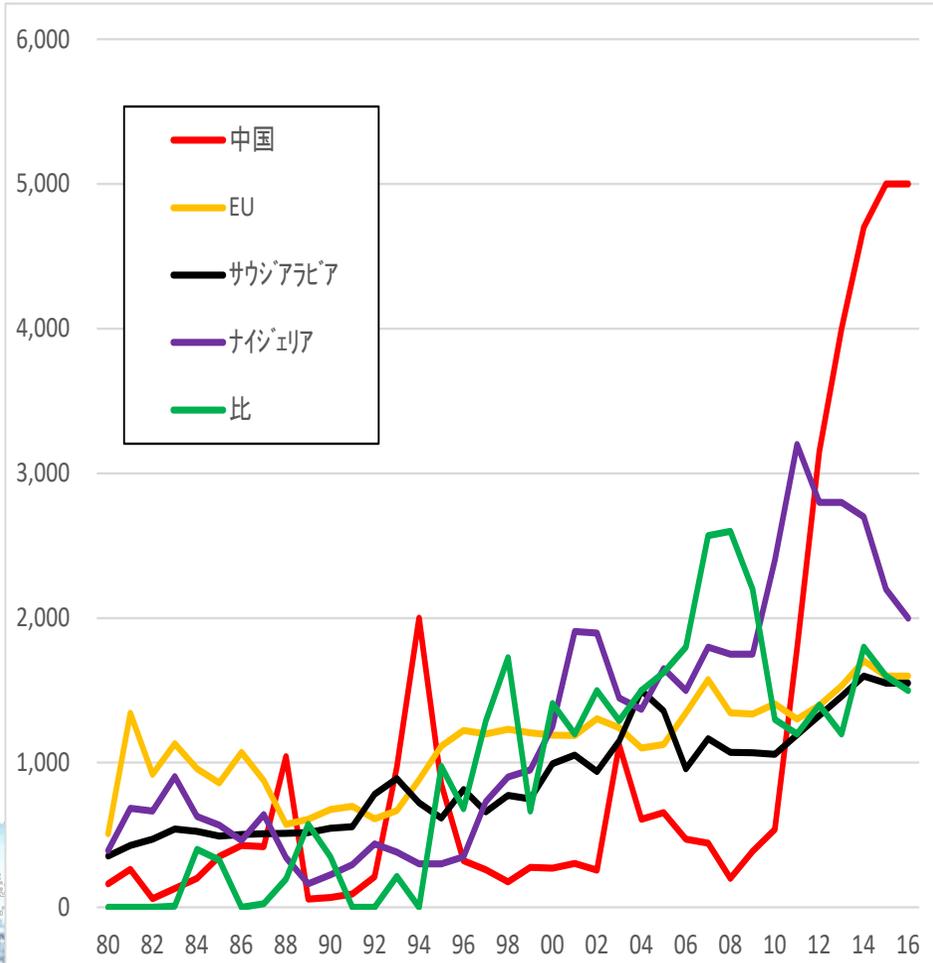


コメの国別世界輸出シェア（%）

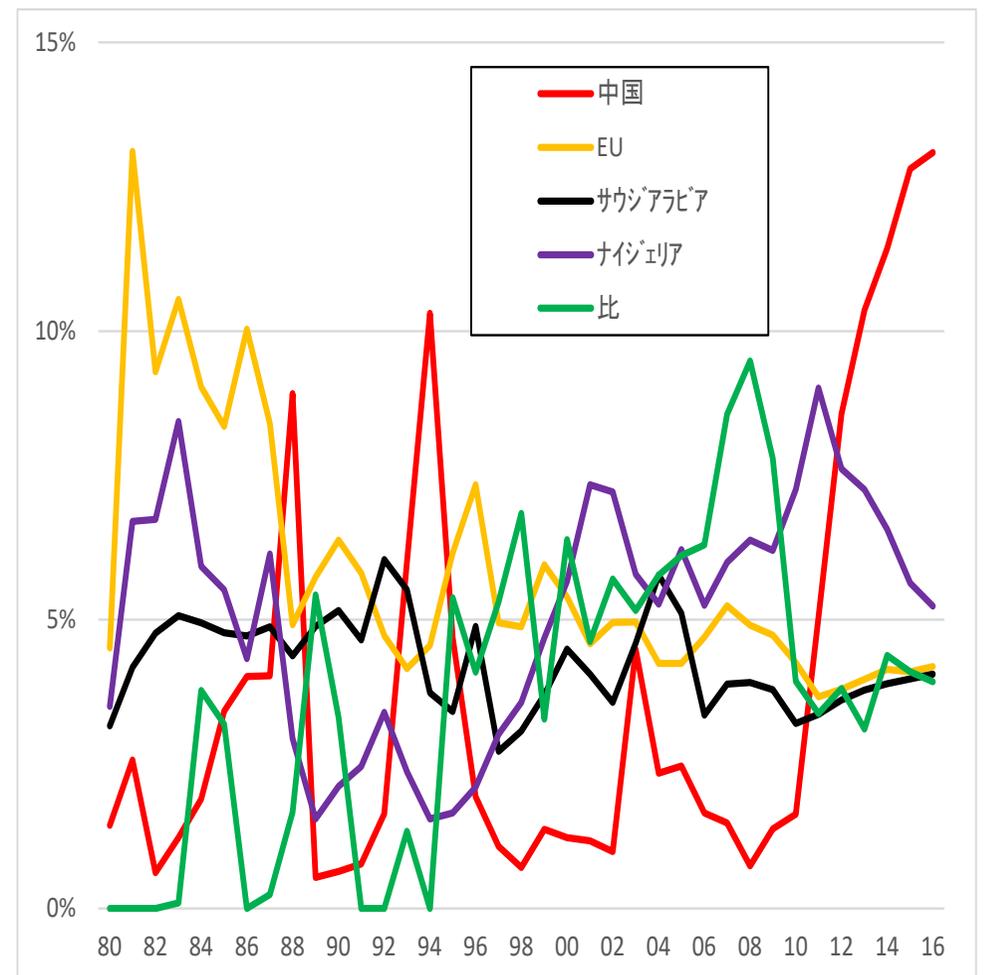


コメ輸入：中国の変動は大、最近は輸入が大きく増加

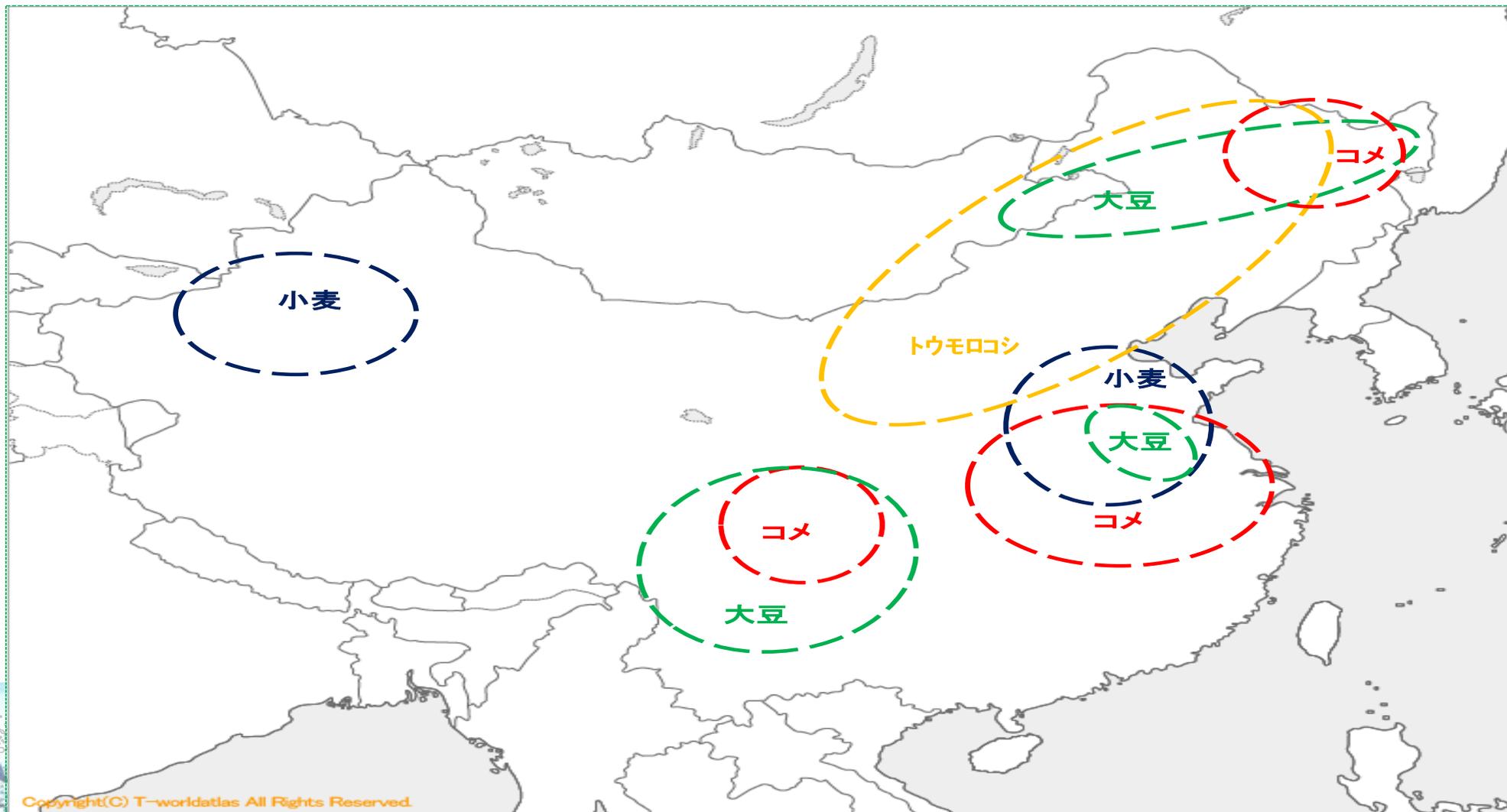
コメの国別輸入量（千トン）



コメの国別世界輸入シェア（%）

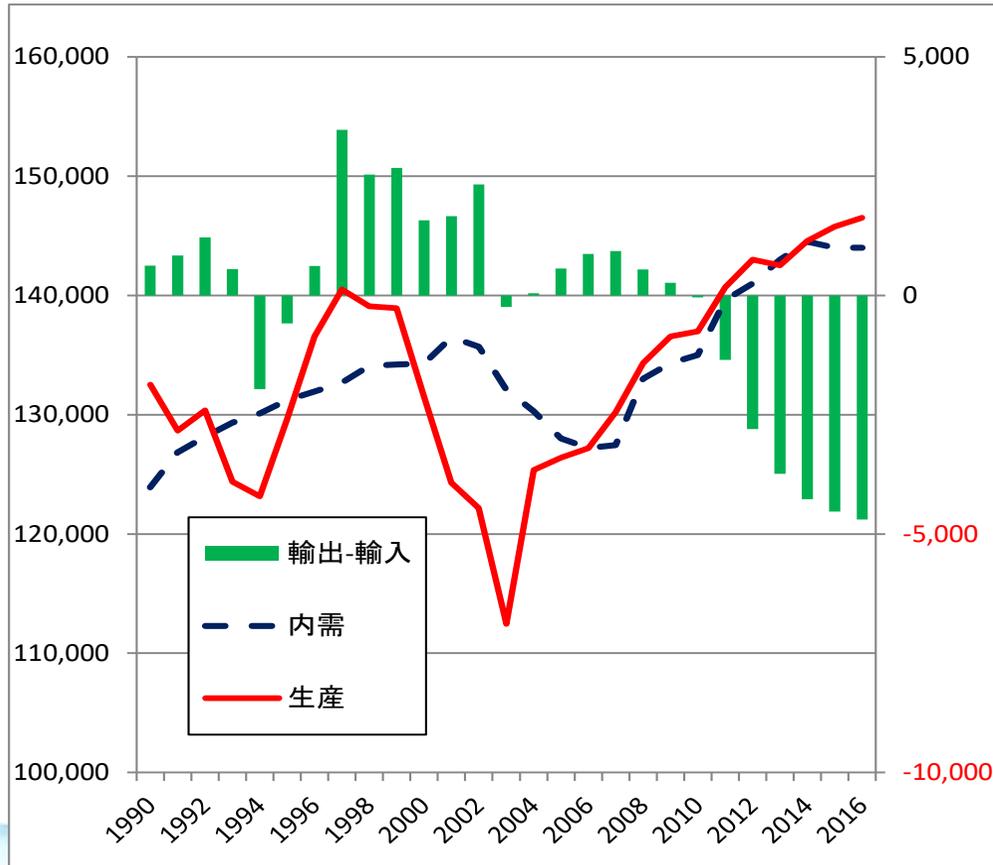


中国の穀物生産地域

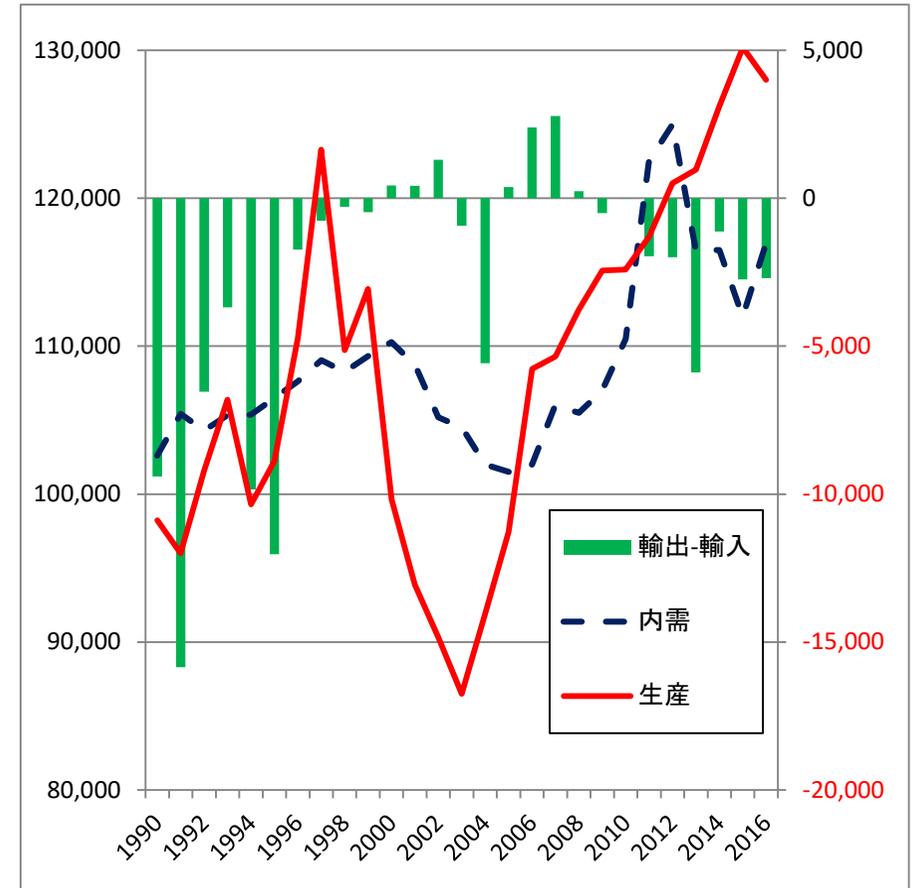


中国のコメ・小麦動向：供給が需要を上回り、在庫も潤沢

中国のコメの動向（千ト）

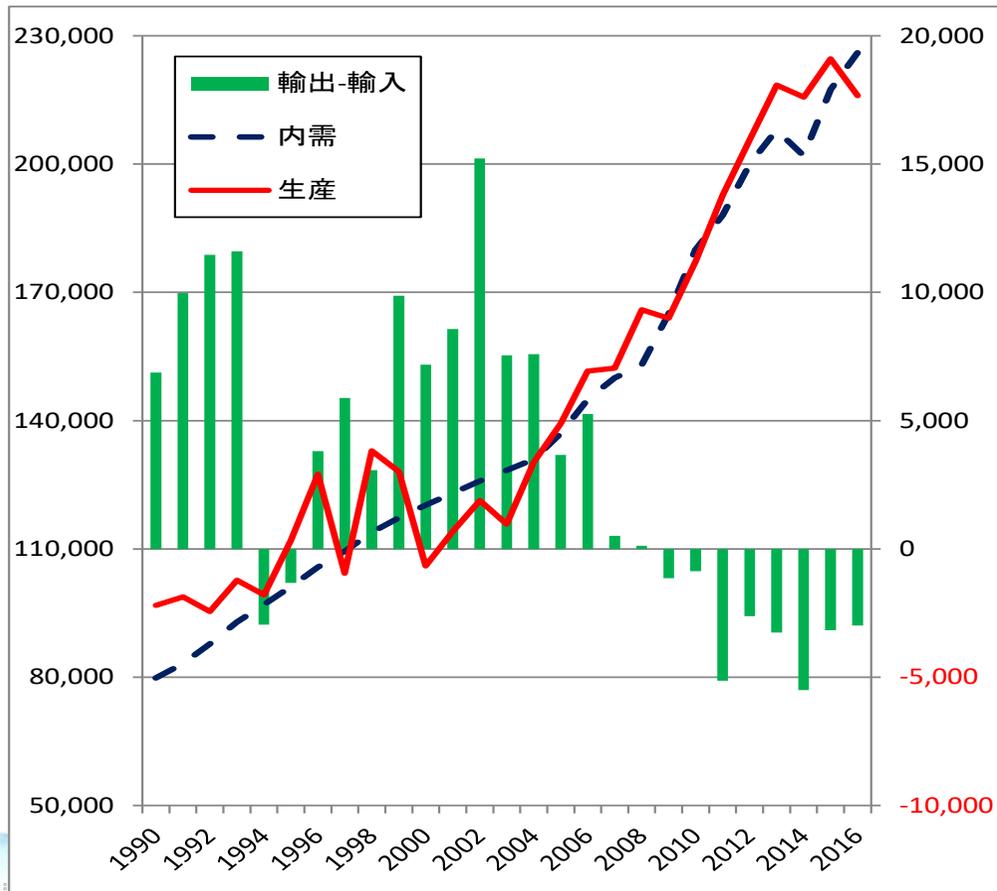


中国の小麦の動向（千ト）

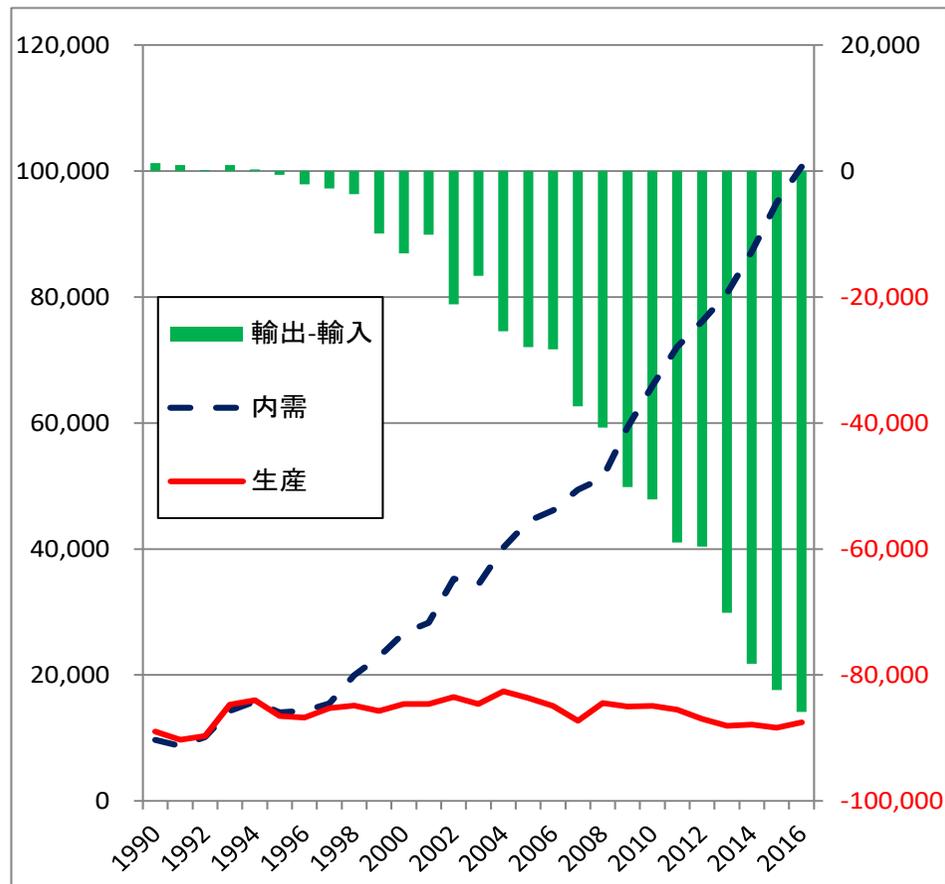


中国のトウモロコシ・大豆動向：トウモロコシの需給は均衡しているが・・・

中国のトウモロコシの動向(千ト)

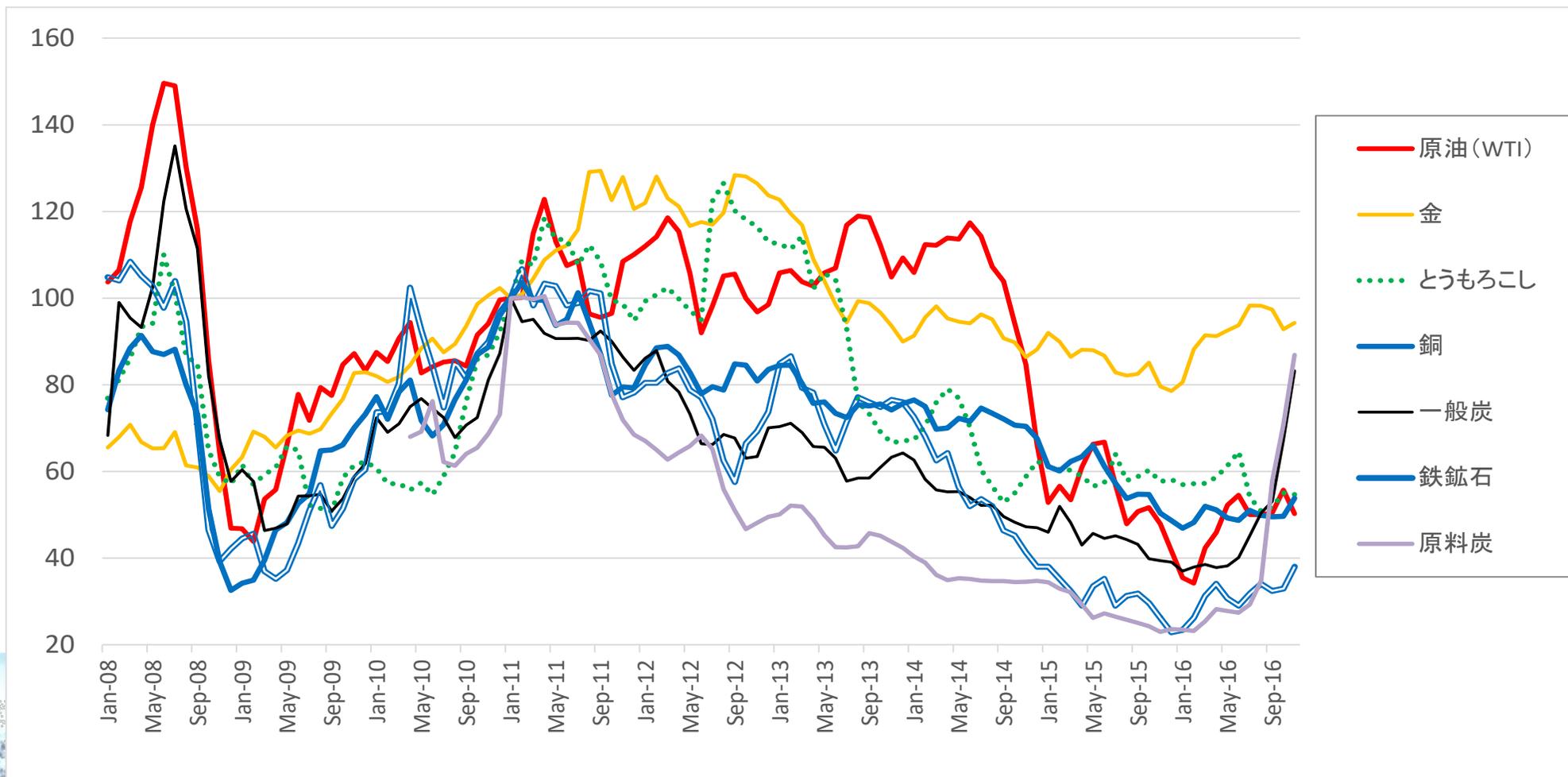


中国の大豆の動向 (千ト)



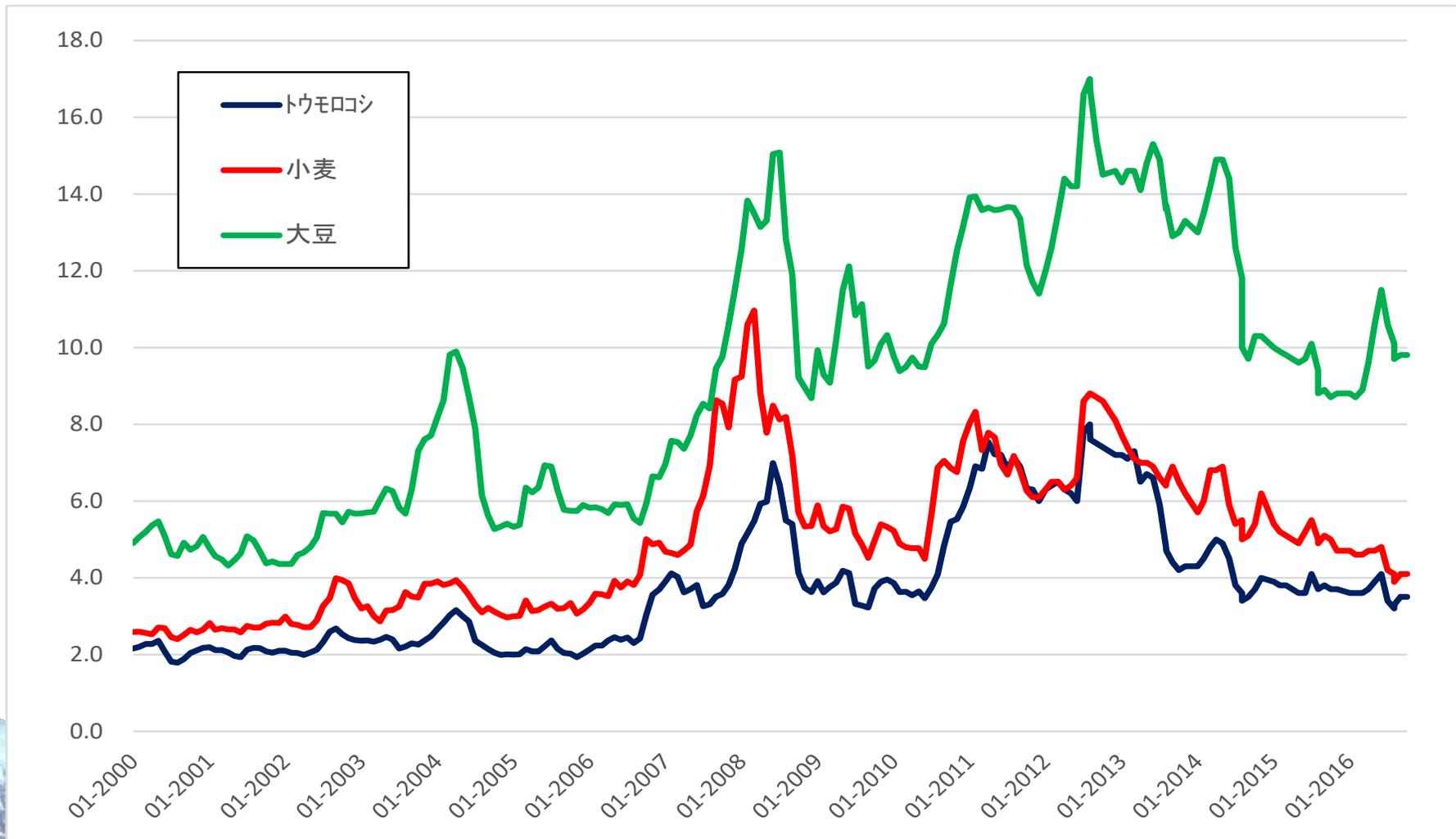
商品市況動向：2011年前半が市況のピーク。現状、下げ止りから底打ちへ

商品市況全般の動き(2011年=100)

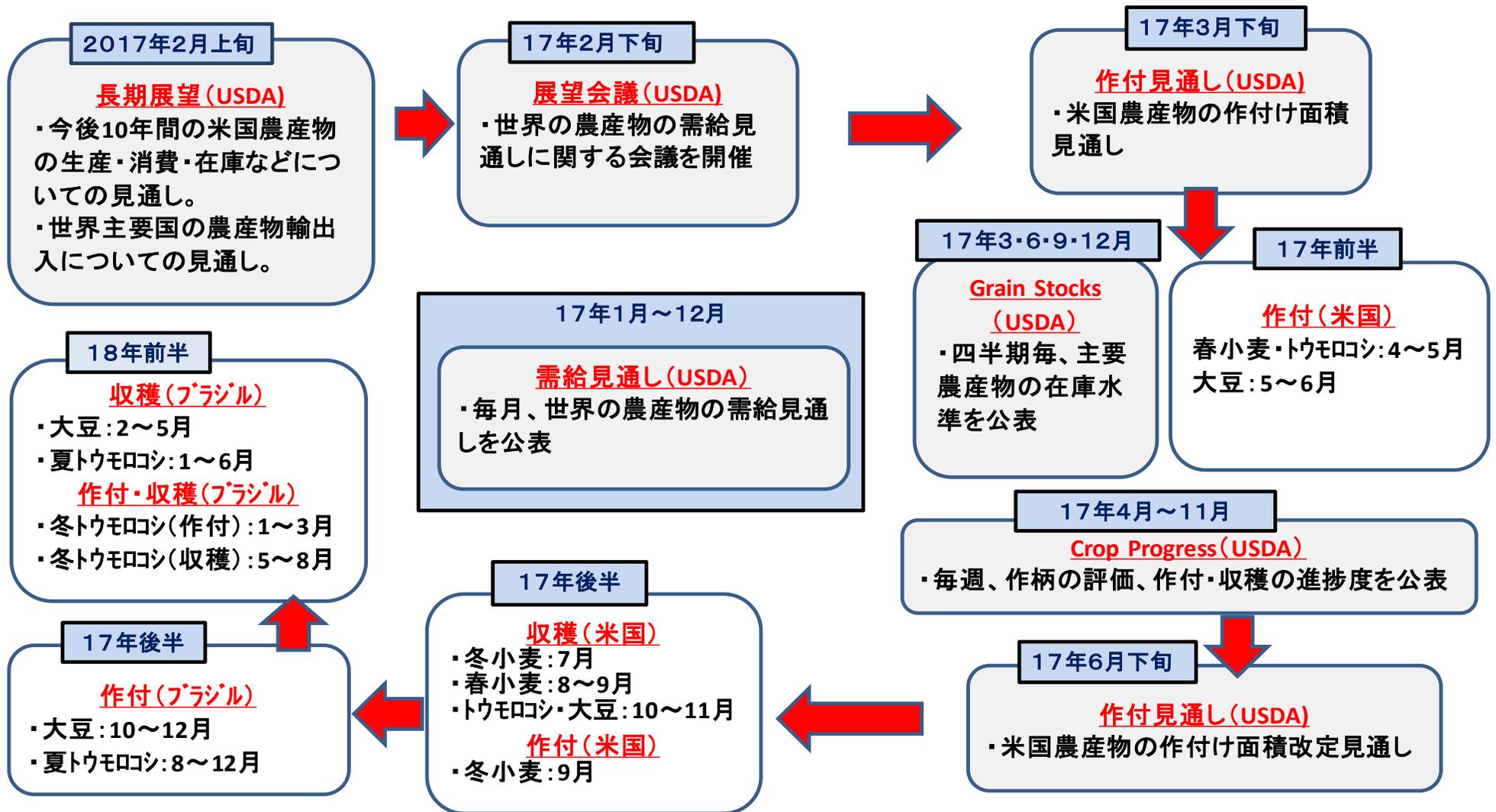


市況動向：露・米の天候要因で市況は急騰。その後は下落基調へ

穀物市況の動向(ドル/ブッシェル)

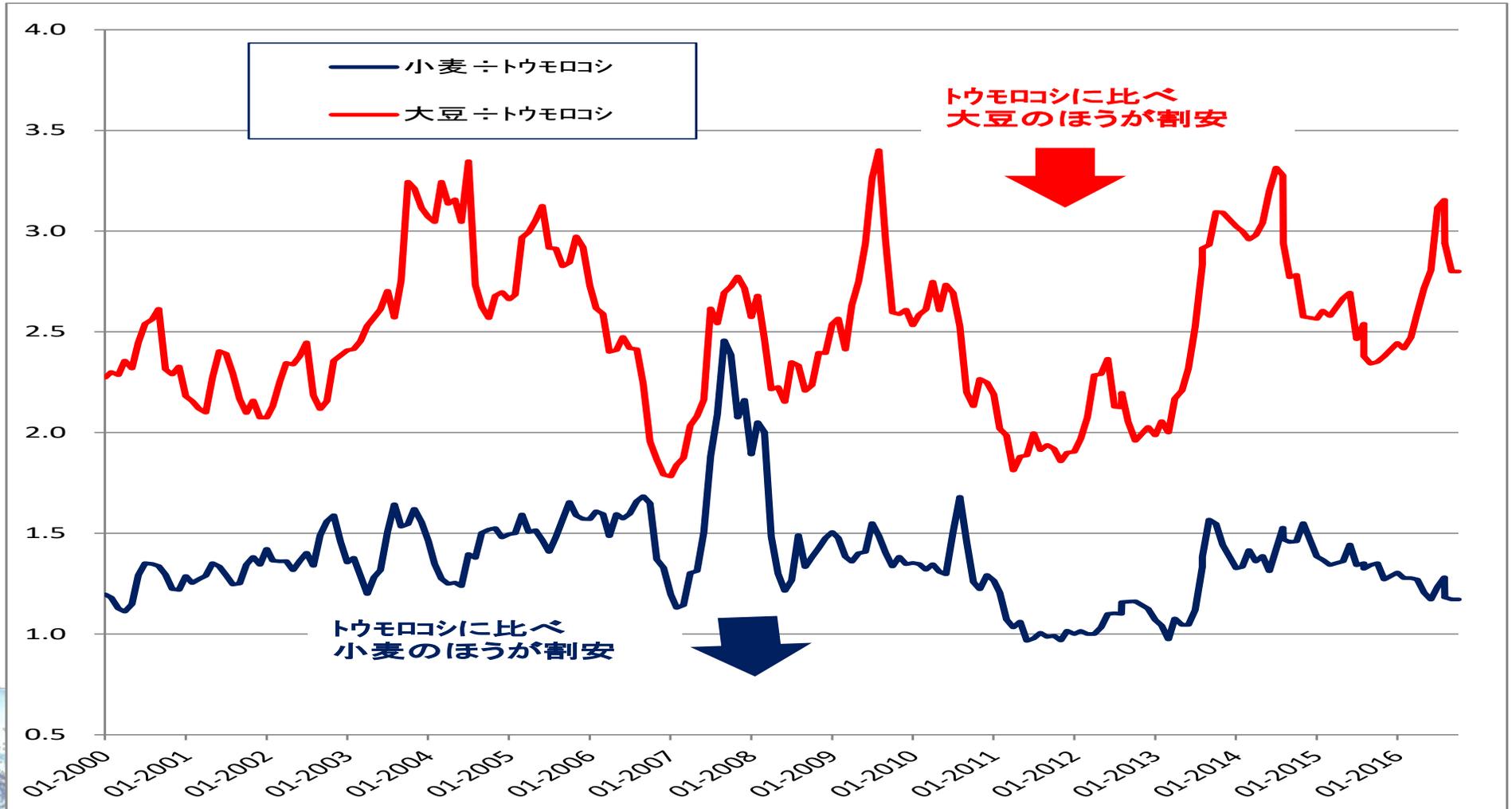


2017年の市況動向をみるうえでの主要ポイント



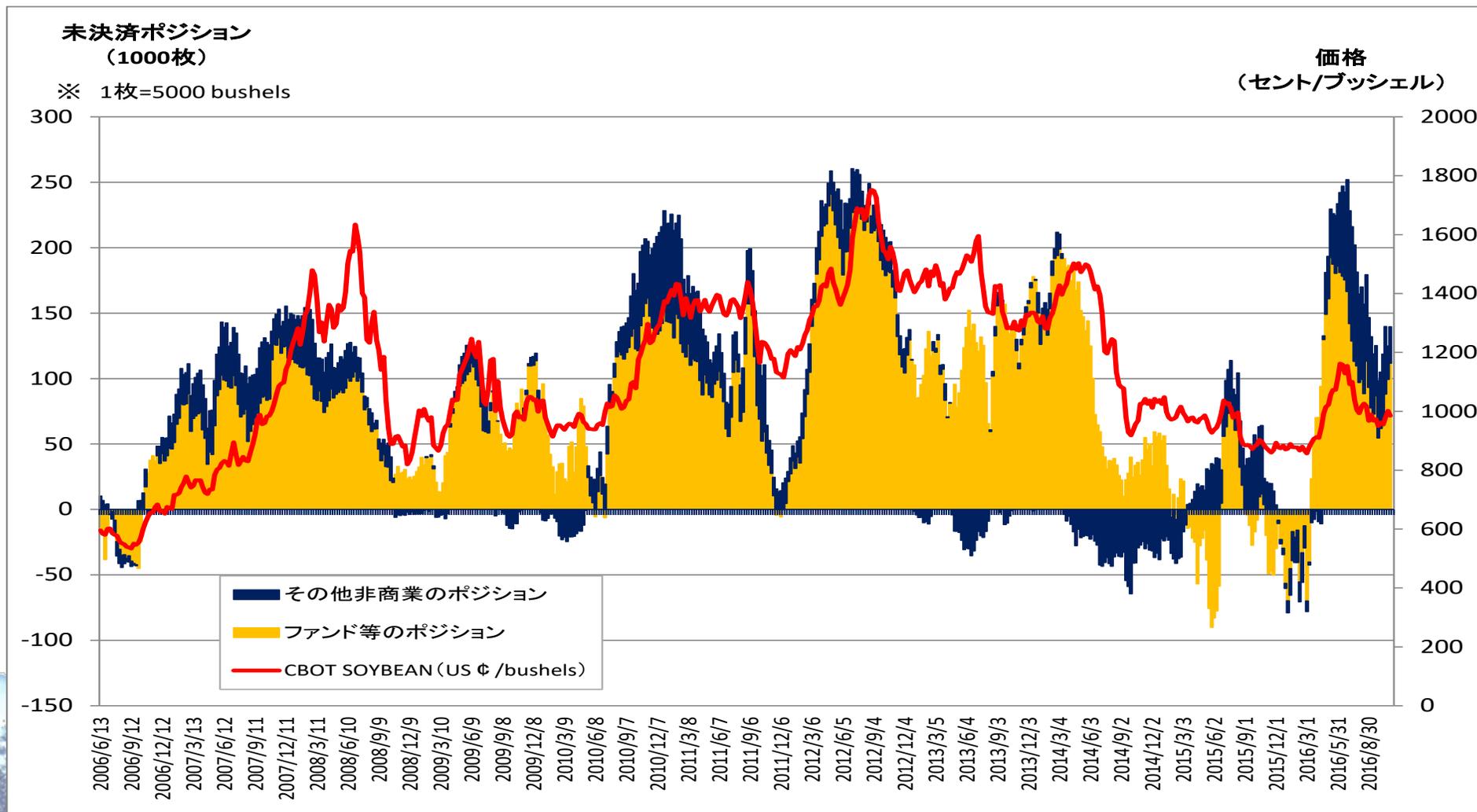
トウモロシと比較した場合の価格比

トウモロシとの価格比(倍)



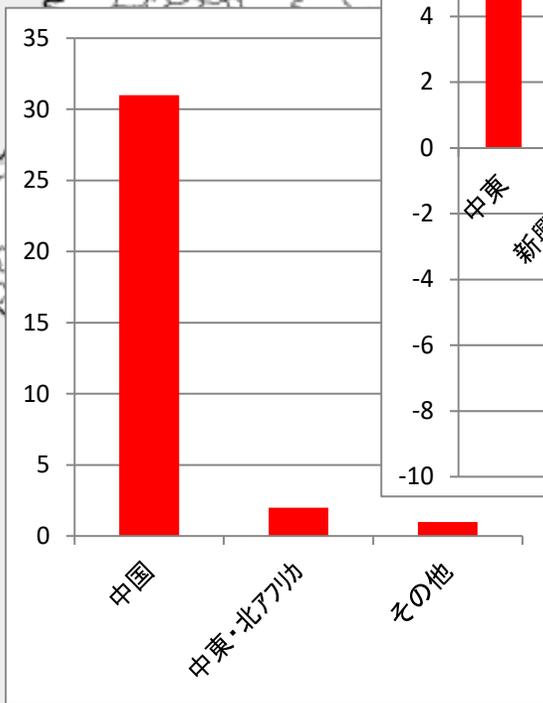
商品市況の動向とファンドのポジション

大豆市況とファンド・ポジションとの連動

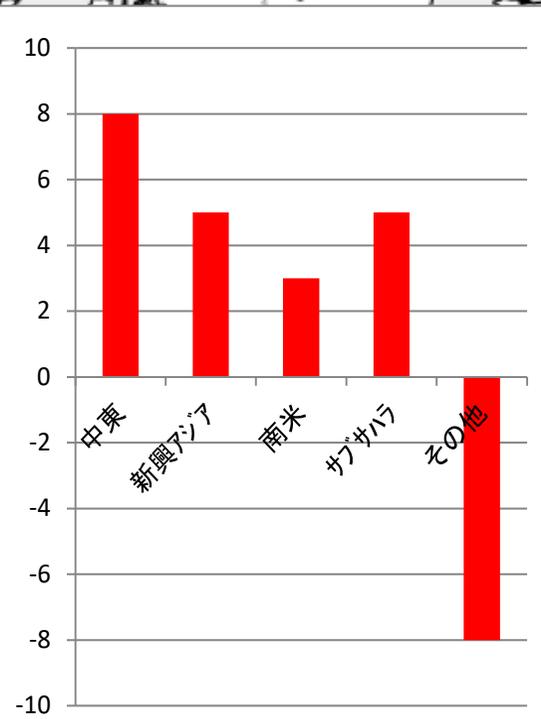


大豆、トウモロコシ貿易の展望：主要供給地域は米州

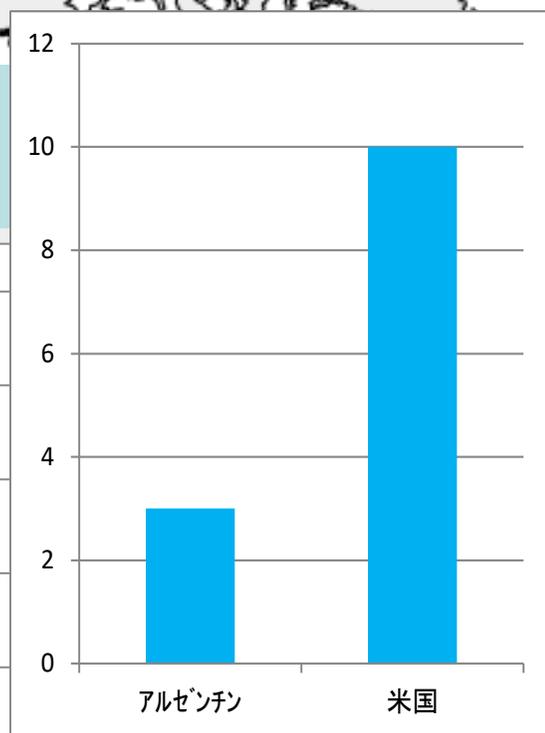
大豆の地域別輸入増
(2014⇒2025年度、
百万トン)



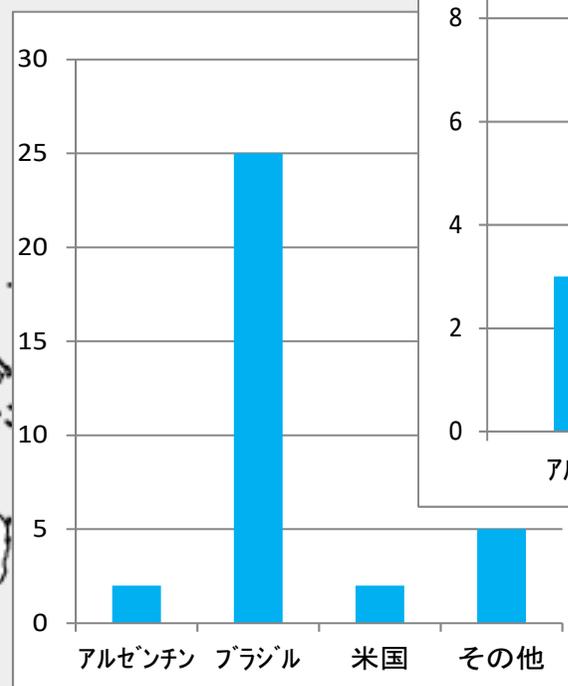
トウモロコシの地域別輸入増
(2014⇒2025年度、百万トン)



トウモロコシの地域別輸出増
(2014⇒2025年度、百万トン)

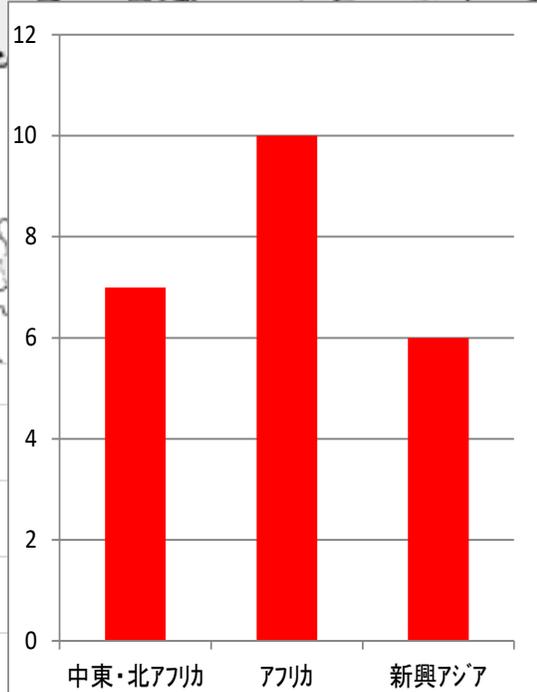


大豆の地域別輸出増
(2014⇒2015年度、
百万トン)

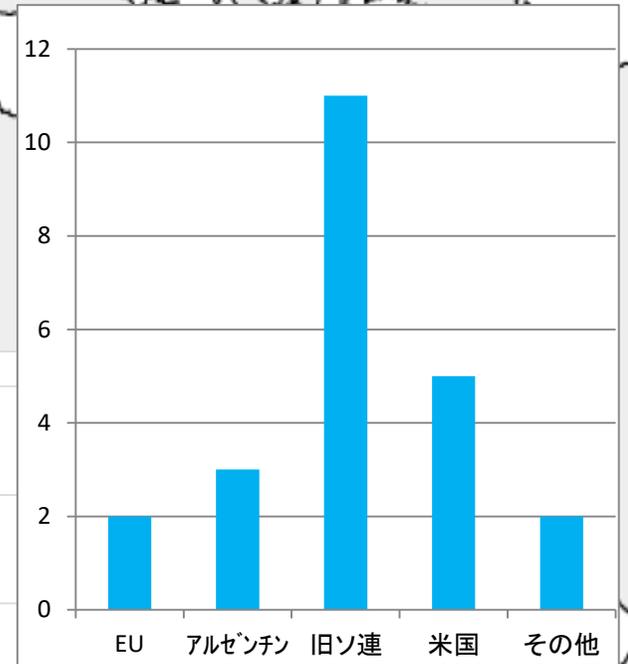


コム、小麦貿易の展望：需要地は中東、新興アジア、アフリカなどの人口大国

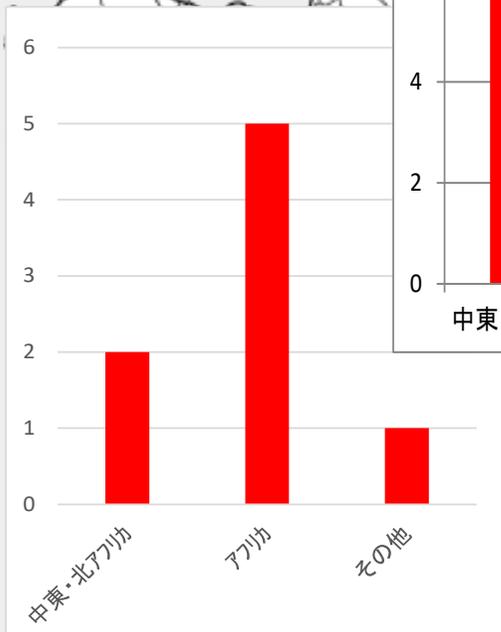
小麦の地域別輸入増
(2014⇒2025年度、百万トン)



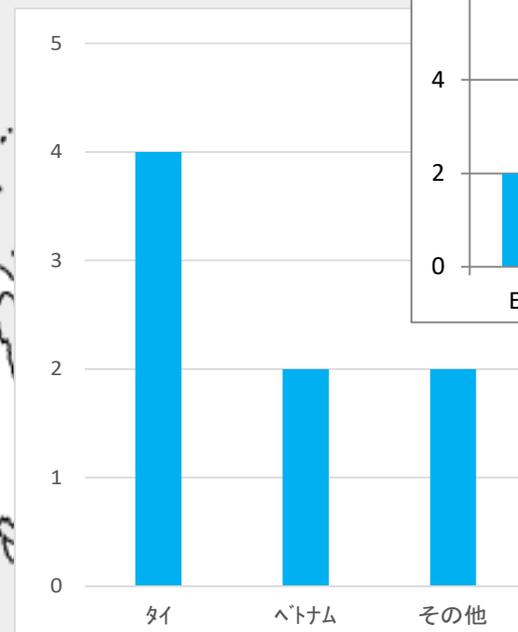
小麦の地域別輸出増
(2014⇒2025年度、百万トン)



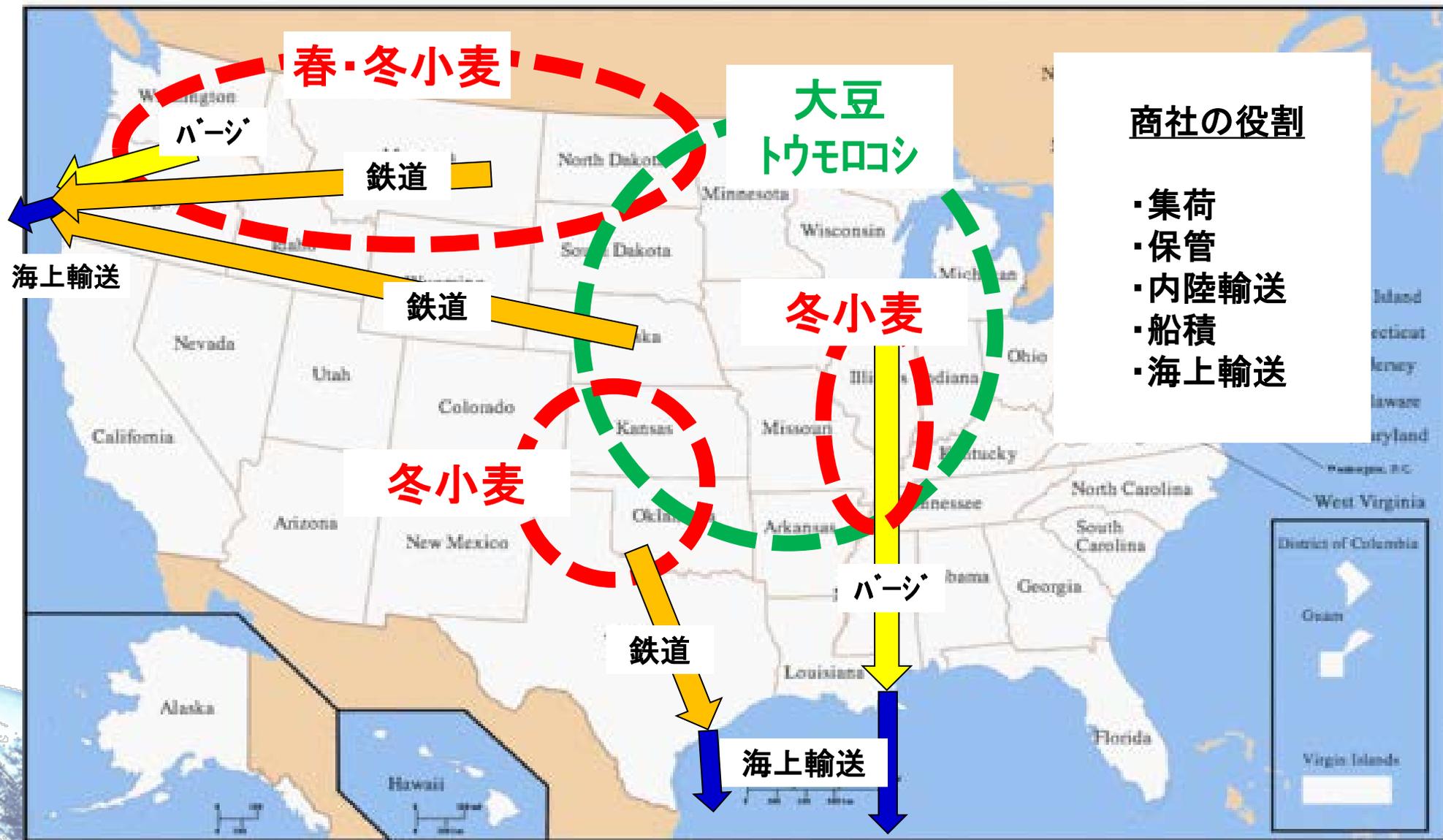
コムの地域別輸入増
(2014⇒2025年度、
百万トン)



コムの地域別輸出増
(2014⇒2015年度、
百万トン)



米国の生産地域と調達ルート



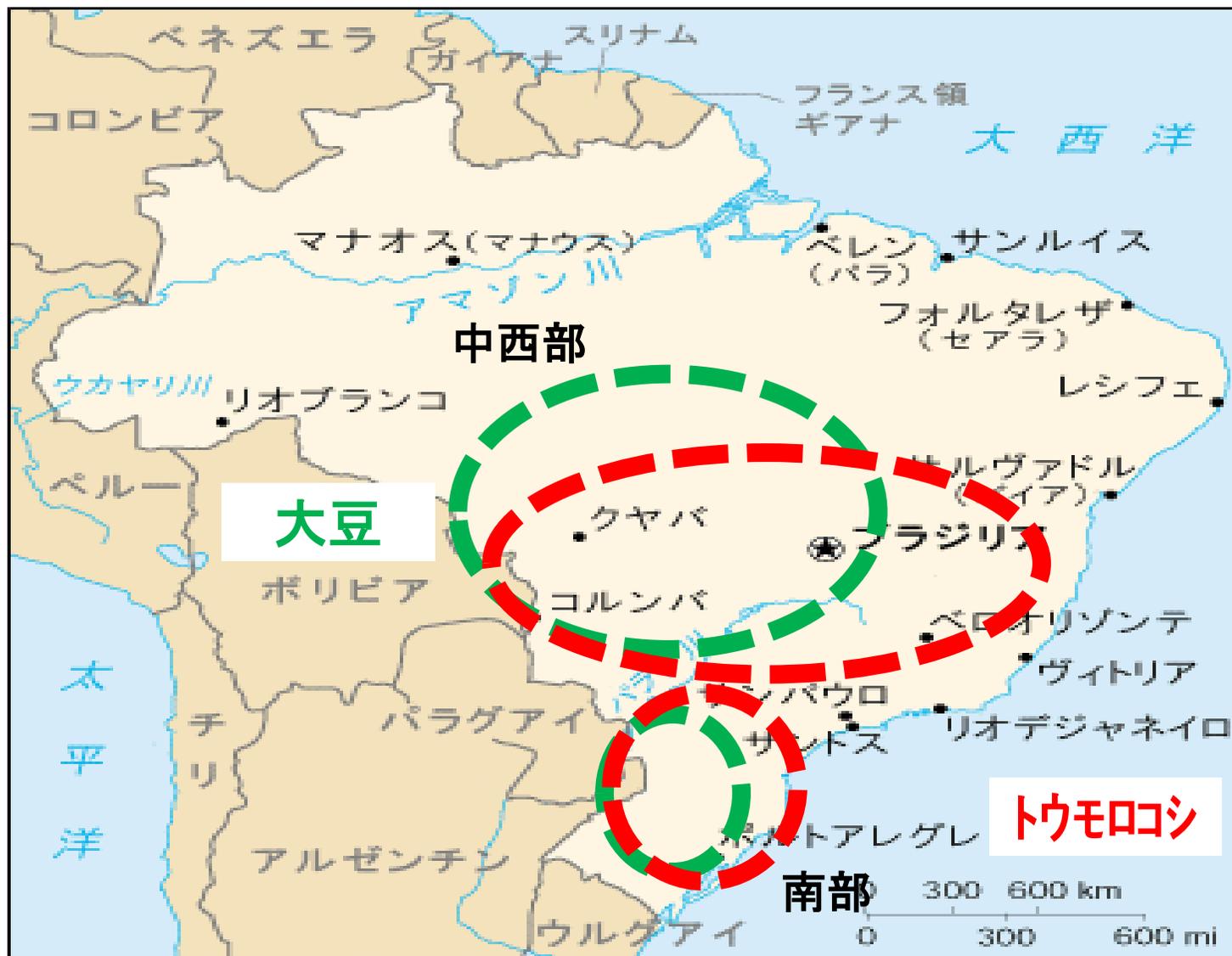
穀物の収穫・保管施設（カントリーエレベーター）



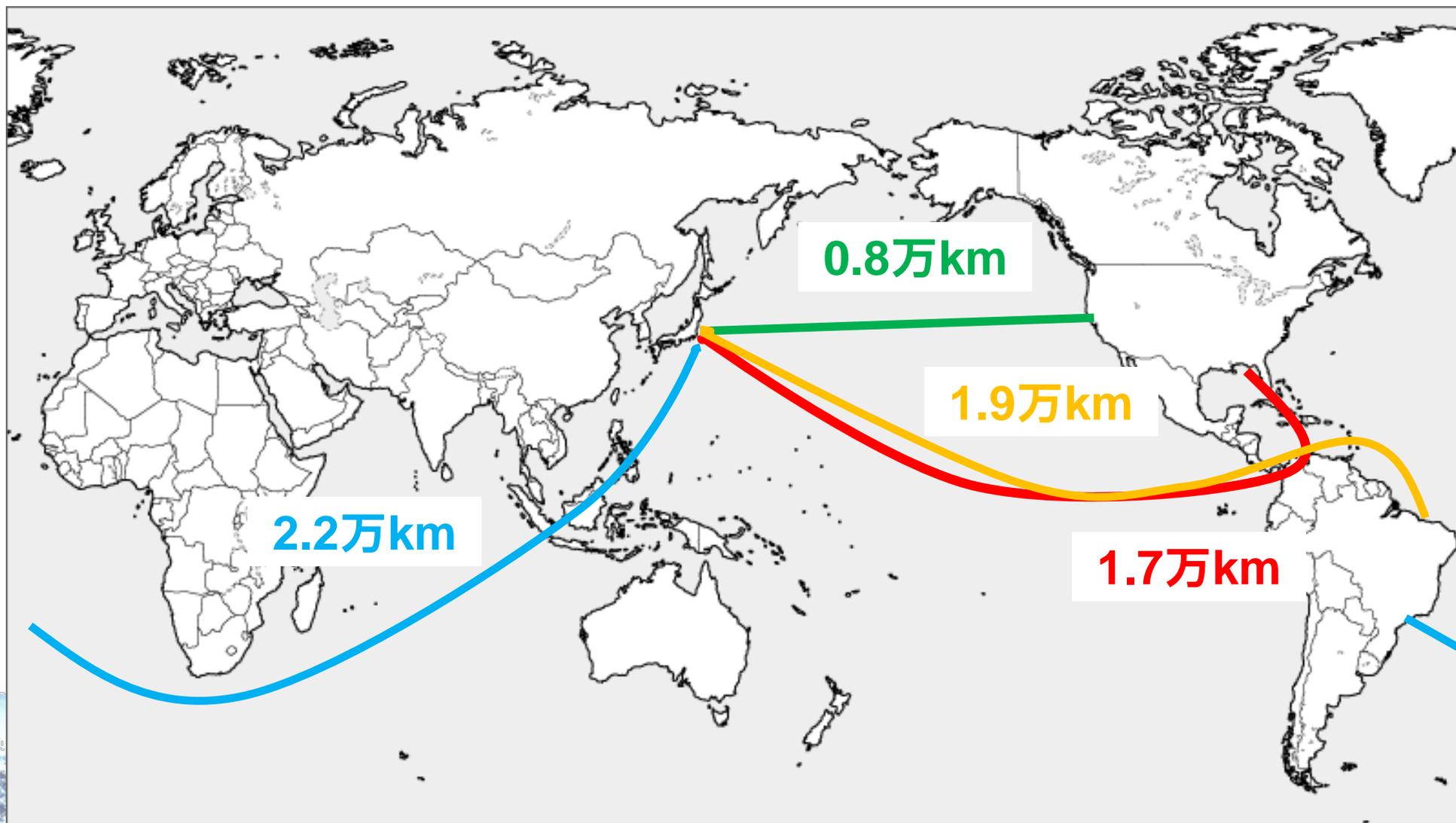
穀物のバージ輸送、輸出ターミナル



ブラジルの生産地域：南部・中西部が中心



海上輸送の距離：米国～東京、ブラジル～東京



輸送コスト(国内+海上): 米国~上海、ブラジル~上海

内陸輸送+海上輸送=総輸送コスト
(ドル/ton)

$46\text{ドル} + 47\text{ドル} = 93\text{ドル}$

$116\text{ドル} + 41\text{ドル} = 157\text{ドル}$

$32\text{ドル} + 44\text{ドル} = 76\text{ドル}$

穀物のサプライチェーンの流れ

穀物分野におけるバリューチェーンの事例（トウモロコシ）

